

平成30年度 子育てコミュニティトーク 開催日程・参加者数

開催日	参加	会場	人数
8月25日（土）	相川保育所、愛歩保育園、厚木こばと保育園、くれよん保育室、妻田保育園、はぐくみの丘保育園、ナーサリースクールT&Y本厚木、厚木ふじの花保育園（計8所）	市民交流プラザ ミュージックルーム610	8
9月8日（土）	小鮎保育所、南毛利保育所、かねだチャイルド園、けいわ保育園、厚南幼児園、三田保育園、もみじ保育園、厚木・あさひ保育園（計8所）	文化会館 302会議室	8
10月2日（火）	厚木のぞみ、厚木さくら、厚木たちばな、厚木田園、厚木緑ヶ丘、小鮎、はやし、伊勢宮、とびお幼稚園（計9園）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	9
10月15日（月）	厚木小学校、厚木第二小学校、相川小学校、戸田小学校、愛甲小学校、戸室小学校、緑ヶ丘小学校、南毛利小学校（計8校）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	8
10月22日（月）	玉川小学校、毛利台小学校、森の里小学校、小鮎小学校、飯山小学校、荻野小学校、上荻野小学校（計7校）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	7
10月24日（水）	清水小学校、妻田小学校、北小学校、上依知小学校、依知小学校、依知南小学校、三田小学校（計7校）	依知南公民館 集会室	7
10月26日（金）	依知中、荻野中、睦合中、小鮎中、藤塚中、睦合東中（計6校）	市民交流プラザ ミュージックルーム2	6
合計			53

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(1)保育所

日時 8月25日(土) 午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザルーム 610

テーマ1「地域での子育て支援について」

●こども未来部長

近年、厚木市においても、共働き世帯や核家族世帯が増え、皆さんのお仕事が忙しいこともあり、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったように感じています。

こういったことを背景に、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定しました。その理念は、「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」というものです。地域では、青少年健全育成関係団体の皆さんや自治会の方々、愛の目運動の皆さんなど、たくさんの方が様々な方法で子育て世帯を見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、保護者にとっても地域に溶け込み、いざというときに助け合えるなどプラスになると言われています。ぜひ地域の方々とのつながりを持っていただきたいと思っているのですが、なかなかつながりが持ちにくいという声もお聴きしています。

そこで、本日お聴きしたいこととして、1つ目は、皆様が地域の方々とどのようなつながりを持っているのか、2つ目は、つながりが持てない理由をお聴きしたいと考えています。具体的には、地域の自治会や子ども会行事に参加しているのか、参加できない理由があれば、それを取り払い、地域に溶け込んでほしいと思っています。

●厚木市で生まれ育ちました。実家の近くにアパートを借りて住んでいます。ずっと同じ小学校区内に住んでいるので、知り合いが多いです。しかし、アパートに引っ越してきたとき、自治会の案内が全くなくて驚きました。また、アパート内では住人同士のあいさつがありません。小さい頃、知らない人とはあいさつをしてはいけない、など、不審者対策の教えがあったこともあり、賃貸物件が集まっているところでは、どういった人を信頼して良いのか分かりづらく、つながりが持ちづらいです。近所の方から案内がないと、地域の行事すら分らないです。外から引っ越してきた人は行事があることを知らないことがあるようです。

●こども未来部長

子どものころから地域行事に参加されているんですね。

●参加していました。アパートには回覧板がありませんが、近所の方が教えてくれることもあり、今も参加しています。自治会加入の案内や手順があれば入りたいのですが、全く情報がありません。アパートの人はあいさつがないので、少し寂しいです。

●こども未来部長

近所などに同じ子育て世帯があれば、皆さんからも是非声を掛けてほしいです。

●役員をさせてもらっており、ママ友とのコミュニケーションをとるようにしています。

●住宅街に住んでいます。御近所トラブルを避けるため、近所とコミュニケーションをとらない方が良く考えていました。近所では私たちが最後に引っ越してきて、すでにグループができていたのですが、すぐに打ち解けることができたので良かったです。皆さんと一緒に近所のお祭りや行事にも参加していますし、保育所以外のコミュニティに参加することが良いことと感じてい

ます。

●こども未来部長

近所で年齢が近い友達ができると、同じ小学校になったりして心強いですね。

●賃貸マンションに住んでおり、住民に会えばあいさつはしますが、あいさつ止まりです。賃貸のためか、自治会などの案内は全くありません。市の広報紙や子育て支援センターに来たときに情報を収集しています。近所のお祭りの情報はないので、おみこしの音を聞いてお祭りをやっているな、と気づきます。自治会や地域の行事に参加したくても、どこの誰に話を聞けばいいのかわからないです。

●こども未来部長

児童館は利用されていますか。

●児童館には行きません。子育て支援センターが近くて便利なのでよく利用しています。児童館は敷居が高く感じます。

●こども未来部長

子育て支援センターには厚木市の全地区からいらっしゃるので、特定の地域の行事だけをお知らせすることは難しいかもしれません。地域の施設に掲示はできるので、子育て支援センターまで来られない方は、地元の児童館に行ってくださいこともお勧めしたいです。児童館には指導員がいますし、移動子育てサロンも実施しています。児童館には地域の案内が充実しています。

●子どもが小さい時から子育て支援センターを利用しており、家庭、保育園、子育て支援センターを行き来しています。それ以外でプラスして地域の行事には行けない状況です。住んでいる地域の小学校には登校班がなく、一緒に学校へ通う子どもを探すことが大変です。

●こども未来部長

児童館は、小学校区内に1館から2館ある状況で、地域の子育て拠点という存在でもあります。教育委員会では、就学前に説明会を開催していますが、児童館では、小学入学前の子どもたちを対象に、学校の様子を教えてくれたり、地域のお兄さん、お姉さんを知るイベントも開催しています。地域の様々な情報も入ってくるがあります。

●児童館も折りを見て行ってみたいです。児童館では、どのようなことをしているのか、情報発信をしてほしいです。

●こども未来部長

冊子「おおきくなーれ」やホームページでは、市の子育て支援サービスが分かるように情報発信をしています。また、分野別に分かりやすいサイトも作成していますので御覧いただきたいと思います。情報は、ぜひ取りに行ってくださいたいです。

●生まれも育ちも厚木市です。アパートに住んでいたときは、回覧板が回ってこなかったため、地域の情報が分からなかったです。花火が上がると、お祭りがあるんだな、と思いながら過ごしていました。別の地区に引っ越して、自治会加入の声掛けがありましたが、自治会活動について質問をすると、災害時の備蓄、とそれだけでした。自治会の方は、こちらが加入する前提で声掛けをしてきましたが、メリットがそれだけなら入らなくても良いのではと思い、そのままです。近所の方とはあいさつをしますし、何かあれば連絡もとりますが、地域とのつながりはありません。子どもが小学校に入ったら考えようと思っています。仕事と保育所、家のことで手一杯で、自治会の仕事は引き受けられません。保育所に子どもを預けている、ということは親が働いていることが前提です。小学生からだと思いますが、子ども会には入りたいと考えています。

●こども未来部長

メリット、デメリットを御承知の上で、検討をされているということですね。

●土・日曜日は家事で手一杯ですし、子どもとの時間も作りたいと思っています。自治会行事よりも、家族と過ごすことを優先しがちです。賃貸物件や駅前に住んでいたこともあります。引っ越したとたんに自治会加入の声掛けの方が来て困惑しました。今住んでいるところは、そこにずっと住んでいる方と新しく転入してきた方が混在しているので、自治会に加入して様子を伺っていました。地域の運動会があったはずですが、回覧板をゆっくり見る時間もなく、地域で何をやっているのか分からない状態です。児童館のお知らせが来ても、イベントが平日にあると関係ないと思い読んでいません。今年、自治会の役員を隣近所で順番にやってほしいと言われたのですが、小さい子どもがいる家庭ばかりで、話し合いをして決めました。夫が近くで働いていたので、私に負担が掛からないように協力をしてくれています。自治会のメインの人は定年した人で、こちらは夜まで仕事をしているのですが、チラシ配りなどの仕事を任されます。夫が朝6時にチラシを配ってくれました。役員をやることで地域の行事を知ることができますが、子どもが小学校に入れば、子どもが情報を持ってきて、親がそれを詳しく調べるというサイクルになるのではと思っています。

●こども未来部長

私も働きながら子どもを育てましたので、お気持ちはすごく分かります。自治会活動を目一杯やってほしい、ということではなく、年に1、2回でも良いので参加してもらえるようにするにはどうしたら良いのかという気持ちで、話をお伺いしています。

●ずっと厚木市に住んでいます。自治会の役員は年配の方がやってくれていて、回覧板も回ってきますが見ていません。現状は地域と関わっていないです。ファミリーサポートセンターにお世話になっていて、下の子を産んだ際に、上の子の送り迎えをお願いしていました。何かあるときに頼める、ファミリーサポートセンターの存在はありがたいです。私の勤務時間は朝早く、子どもが小学校に上がると、子どもよりも早く家を出ることになります。少しの間だけ、子どもを預ける場合は、近所の方には頼みづらいです。家の周りで、ファミリーサポートセンターという名札を付けている家がありましたが、センターの会員がどこにいるのか分かったと助かります。また、放課後児童クラブに入れることを考えているのですが、できれば午後7時まで預けられると良いなと思います。地域とつながりを持てない理由としては、忙しいからです。仕事から帰ってきて、公園で遊ばせてあげたいと思うのですが、家の近くの公園で夜8時頃まで遊んでいる子どももいて、それもどうかと。時間が合わず、つながりが持てません。移動子育てサロンも平日の午前10時ですと参加は無理です。夫は土・日曜日も仕事があつて頼れないので、土・日曜日の過ごし方を考えます。どこにいくのか広報紙を読みますが、行けるような行事がないですし、あまり魅力的ではありません。ほとんど海老名市に行っています。ずっと厚木市に住んでいて厚木市が好きなので、厚木市ももっとかンばっていただきたいと思います。子どもを気軽に連れて行ける所がありません。子ども2人を連れて行くには、公共施設は駐車場がありません。子育て支援センターも駐車場がありません。お金を掛けずに遊べる場所を探します。n o m a というWEBマガジンでは金曜日にイベントが公開されますが、厚木市で行ってみたいと思うような情報はありません。情報発信するのなら、本を手に入れるということは手間なので、ネットと提携しお母さん方が何を見ているのかを意識し、そういったところから発信をしてはどうでしょうか。市のホームページも見ますが、あまり更新されている様子もないですし、地域の細かい情報は載ってい

ないので、「厚木時間」などで地域の情報も載せたらどうでしょうか。

●マンションに住んでいますが、お年寄りが多い所です。バーベキューなどに連れて行ってくれたりと交流はあります。新しい人が引っ越してきますが、交流できているのはお年寄りの方たちです。公民館などもおばあちゃんが場所を教えてくれましたが、回覧板はなく、自治会の案内はありません。教えてくれなかったら分からなかったです。夫の転勤が多く、地域によっては自治会費が家賃に入っていて、行事があると案内が必ず入ってくるところもありました。海老名市に住んでいたときは、自治会には入っていませんでしたが、近くの公民館の祭りなど、近所の方がチラシを配ってくれていたので参加していました。

●こども未来部長

チラシがあると分かりやすいですね。

●お祭りとか貼り紙があれば見て行けるかなと思います。

●上の子は小学生、下の子は年長です。上の子を育てていたときは、仕事を辞めていたので、子どもとどう接すれば良いのか、公民館や子育て支援センターでお世話になりました。勤めだしてからは時間がなく、行けなくなりました。保育所に子どもを入れることに苦戦しました。上の子は幼稚園だったこともあり、両方経験していますが、保育所に子どもを預ける親は時間に余裕がありません。ただ、土・日曜日は家庭で楽しんでいるので、今回の「地域での子育て支援」というテーマは、幼稚園のお母さん向けだと思います。幼稚園と保育所に通っている家庭では、ライフスタイルは異なります。子どもが小学生になると学校から週末のイベントが載っているプリントをもらってきます。行けそうなら行きますし、子ども同士で行くこともあるので、心配ないと思っています。自治会がどのように地域で割り振られているかが分かりません。子ども会も地域によって実情が違います。現在住んでいる地域では、子ども会のお誘いがありませんでした。その後、隣の地域の方からお誘いをいただき、そちらの子ども会に参加させていただいています。住んでいる自治会の区域や子ども会の有無などが分かれば良いのですが、自治会のお誘いがいきなり来ても全体が分からないので、詳細な情報が分かれば入りやすいです。分からないままだと、忙しいからいいや、となってしまうです。

●こども未来部長

私も子育てをしながら、仕事をしていましたので、地域の行事にはほとんど参加できなかったです。休みの日は家族のつながりを深めるため、家族だけの行動も大事だと思っています。しかし、いざというとき、例えば災害時などは、地域の中で一人きりでは生活できないと思います。皆さんが仕事をしている間、子どもに何かあったときどうするのか。仕事を休むことができて、帰るまでの時間、子どもを誰に見てもらうのか。やはり地域しかないと思います。何かが起こった際、子どもがどうなるのか分からない、ということは心配です。これまでも、災害時に保護者が保育所に迎えに来ることができないことがありましたが、近所の方が連れて帰ってくれたこともありました。また、子どもが公園で遊んでいて、保護者とはぐれてしまった際、顔見知りの地域の方が保護者の元に案内してくれたという話もあります。地域とのつながりを持つということは、防犯・防災上からも有効だと思います。また、子どもの成長のためには、家庭と保育所との往復だけではなく、いろいろな世代の方と会って、親とは違う人に怒られたり、褒められたりすることが子どもの成長の糧になります。

●実際、平日の朝から晩まで保育所に子どもをずっと預けていて、保育所と家庭の行き来のための生活でもしょうがないと思います。

●こども未来部長

年に1、2回でも良いので、顔を知る、知ってもらうために行事に参加するだけでも良いと思います。

●地域の交流に未就学の子どもも参加してほしいのなら、保育所に地域の行事を掲示してはどうですか。

●建設フェスタなどは掲示されていました。

●こども未来部長

市全域が対象となるイベントは良いと思いますが、保育所のある地域と全く違う地域の情報を全て掲示することは難しいかも知れませんね。

●保育所がある地域の情報が貼りだされても行きません。

●こども未来部長

分かりやすいのは、地域にある広報板にチラシを貼ることかと思います。

●幼稚園のお母さんなら良いかもしれませんが、保育所のお母さんはその場所に情報を取りに行くことが難しいです。全否定ではありませんが、小学校に入ってからでも遅くないと思います。

●こども未来部長

どうすれば参加できるか、御意見をいただきたいと思います。

●地域とつながりを持ちたいのですが、情報がいないため、機会が持てず入ることができません。改善されると入りやすいです。

●市長室長

皆さんのお子さんはまだ小さいので、一人でいる時間は少ないかと思いますが、小学生になると行動範囲が広がります。子どもたちだけで過ごす時間も成長面で大事だと思います。災害発生時にお子さんが保育所や学校にいれば安全なのでしょうが、そうではない場合はどうするのか。近所の方と顔見知りになって、少しでも気にかけてもらえるような関係を築くことも大事だと思います。大きな災害が起きた際、行政ができることは限られています。そういったことを考えると、御自身のこと、御家族のことを守っていただき、近所の方々が助け合っていくことは絶対にお願ひしなければならないことです。何らかの形で、地域とのつながりを持っていただくことを皆さんにも考えていただきたいと思います。行政としても情報提供の方法を努力する必要があることを認識しましたので、皆様も情報を得ていただく努力を引き続きお願いしたいです。

●本厚木駅に通勤している人に対して、デジタルサイネージで情報を流すことやバスの広告で掲示してはどうでしょうか。

●市長室長

そのために設置しましたので、最新の情報が常に提供できるよう研究しています。

●コミュニティサイト「厚木が大好き！！」では、5,000～6,000人登録されていて、頻繁に情報が発信されています。

●リアルタイムで、ツイッターなどで情報発信されると良いと思います。

●あゆコロちゃんのフェイスブックがありますが、もうちょっと情報発信をしてもよいのではと思っていました。

●厚木市からだと固いので、あゆコロちゃんが発信しています、という感じで。私は厚木市のメーリングリストを登録しています。

●市長室長

私たちは厚木市というアカウントで情報を出すとなると、どうしても固いものになってしまいますが、皆さんが必要な情報はもっと軽くて身近なものだと思います。台風が接近した時に、ツイッターを使いましたが、たくさんの方に見ていただけました。

●厚木市はたくさん情報を発信されている方だと思いますが、地域のことも発信していただければ参加しやすくなるのではないかと思います。

●教育長

小学校を通して、地域行事の情報を入手されていると話されていました。校長会で調整をしながら学校を通して用意してもらったチラシを配ることもできるかと思います。

●小学校PTAの校外生活委員を務めていました。委員長からは、地域の見守りをしてください、と言われていました。自分もそういったところに入って分かったこともあるので、地域の人との交流や見守りも大切だと感じましたが、未就園児からではなくても、小学生からでも遅くはないかなと思いました。

●近所の方と話をしたいと思いますが、相手がそのことをどう思っているのか分かりません。地域とつながりたい気持ちはありますが、機会がないのでそこを手助けしていただけるようなツール、アイデアがあればと思います。

●子育て支援センターで情報が入手できれば良いのではないのでしょうか。

●駅から遠いところに住んでいる人は、駅の近くには行きません。子育て支援センターは1、2回ほどしか行ったことがありません。主に児童館を利用しています。住んでいる地域によって利用する場所が違うと思います。厚木市内で統一する必要はないと思います。

●児童館で地域の行事のお知らせはありますか。

●口頭であります。

●それは全員に知らされているのでしょうか。初めての人でも教えてもらえるのでしょうか。

●そういったところは情報ツールがあると良いと思います。

●地域で児童館が分かれているのならば、周辺の情報発信をしてもらえると良いのではないのでしょうか。

●土・日曜日は開館しているのでしょうか。

●開館しています。家では買わない高いおもちゃが置いてあります。

●児童館は午前中お日様タイムがあるようですが、いつあるのか分かりにくいです。分かりやすくしていただいた方が行きやすいです。

●こども未来部長

ホームページなどで情報を載せていますので、是非御覧ください。

●社会教育部長

小学校に上がると心配ないと思いますが、年に数回でも地域の行事に参加してもらえればと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

「家庭での子どもを守る取り組み」というテーマですが、携帯電話やスマートフォン所持の低年齢化が進んでいます。皆さんのお子さんの年齢で持たせるということはないかと思いますが、

情報機器が発達している中で、不安なことなどがありましたらお聴きしたいと思います。

●通話機能だけのキッズ携帯は持たせています。早い子どもは小学校4年生でスマートフォンを持っています。兄弟がいると下の子も持ち始めたり、親が機器を持たせるということもあります。大人でもネットトラブルがあるくらいなので、子どもはもっと心配だと思います。公民館で無料通話アプリの使い方という講習会に参加し、勉強になりました。各方面で講習会をたくさん実施して、情報を得られると良いのではないのでしょうか。

●社会教育部長

家庭内でルールなどを作っていますか。

●プールの監視員をしているのですが、親がそこに子どもが来ていることを知らないことがあります。光化学スモッグが出ている日や台風が近づいているのに外で遊んでいる子どもがいて、危ないなと感じています。自分の子どもにはそういう状況にさせたくはありません。そういった場合、スマートフォンなどを子どもが持っているのと連絡できるので安心ではありますが、プールの休み時間にずっとスマートフォンをいじっている子がいます。

●親にどこに行くのか言わず、子どもだけで駅まで遊びに行っていることもあるようです。

●自分たちが子どものときと、遊び方が違うようです。

●持たせるとしてもキッズ携帯です。ただ、小学校でいつまでそれで対応できるのか。周りがスマートフォンを持ちだすとなると、切り替えのタイミングが難しいです。今後の悩みになるかと思えます。

●学校教育部長

キッズ携帯は家族といつでも連絡でき、最近のものではGPSも付いているので、便利な機器ではあります。一方で機器を使用する際の危険を知らないといけません。小学校でも携帯電話の使い方教室を開催しています。保護者の方にもどのような危険があるのかを知っていただく必要があります。機種の変更のタイミングで、機器に余計な機能が付いてしまわなければ心配ないのでしょうか。小・中学校では、子どもの機器の持ち込みはさせていません。しかしながら、子どもが機器を持っているということが現状にはあります。機器を持たせる際には、親も知識を持ち、約束を決めることが大事です。子どもに、他の子が持っているから、と言われるかもしれませんが、それは機器を持たせる理由にはなりません。公民館でも講習会があるので参加していただきたいと思えます。

●こども未来部長

これまでの話を聞くと、小学生まではキッズ携帯にする。昼間は持たせているが夜は親が保管する。無料通話アプリは親がチェックをする。保護者の携帯電話を貸す。など、いろいろなルールが各家庭であると紹介されていました。御家庭での工夫などをお話いただき、皆さんの家庭でも参考にできればと考えています。

●子どもの年齢が上がると、親の言うことを聞かなくなることがあると思えます。家庭の状況もあるかと思いますが、例えば厚木市では「使用は夜9時まで」というような指標があれば、親も子どもを教育しやすいと思えます。

●こども未来部長

前にもそのような話が出たことがあり、ある保護者から、全て市にやってもらうのか、という意見が出ました。家庭によっては、情報機器を学習に使っている、家のリビングでのみ使わせて

いるなど、機器の使い方は家庭によって全く違います。市で一律のルールを決めることは難しいと思います。今日は皆さんからそれぞれ御意見をいただきましたが、保育所や小学校など、今度は皆さんから情報発信していただければ良いなと思いました。

先ほどのテーマ、地域のつながりの中でも話題になりましたが、自分や家族の安全のためにどこまで協力ができるのか、相手に全部やってほしい、ということは難しいし、押し付けられたくない方もいらっしゃると思います。私はこれなら協力できる、今後はこんなこともできそうだと、お互いに話し合えるような関係ができれば良いと思っています。

●市長室長

参加者同士で意見が飛び交い、大変中身の濃い話し合いになりました。多くの貴重な意見をいただけたと思っています。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(2)保育所

日時 9月8日(土) 午前10時から正午まで

場所 厚木市文化会館 302 会議室

テーマ1「地域での子育て支援について」

●こども未来部長

共働きの世帯、核家族が増え、仕事が忙しいこともあり、地域での交流、ふれあいが昔に比べると少なくなったのではと感じています。

こういった背景があり、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定しました。「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」という理念を掲げた条例です。地域では、青少年健全育成会、子ども会、自治会などたくさんの方が様々な方法で子育て世帯を見守ってくれています。

また、自然災害が発生し、皆さんが職場から自宅に帰れなくなった場合、子どもの様子を誰が確認するのか。やはり地域の方に頼ることがあると思いますので、いろいろな形で地域の方とのつながりを持っていただきたいのですが、なかなかつながりが持ちにくい、という声を聴いています。

本日お聴きしたいこととして、1つ目は、皆様が地域の方々とどのようなつながりを持っているのか、2つ目は、つながりが持てない理由をお聴きしたいと考えています。

●アパートでどんな方が住んでいるのか知りませんが、実家の周りは知人ばかりなのでつながりはあります。同級生も地元に残っているので、そういった方から地域行事の情報を教えてもらいます。実家は自治会に入っていますが、アパートは自治会に入っていないです。ただ、小学校に上がると、子ども会などの連絡が入ってくるようです。

●こども未来部長

地域行事には忙しくて参加できませんか。お祭りなどは行かれますか。

●時間が合えば行きます。

●こども未来部長

小学校に入るとつながりができやすいのですが、隣近所の方が分からないと心配ですよ。

●結婚して夫の実家がある厚木市に引っ越してきました。3年前からアパートに住んでいますが、知り合いがいません。自治会の話も全くありませんし、入りたくてもどうやって入るのか分かりません。ただ、自治会で活動する余裕もない状態なので、誘われたとしても入るかどうか悩みます。

●市長室長

自治会に加入しても活動ができないとなると、遠慮する気持ちが出てきてしまいますよね。

●自治会に入っていますが、活動には参加したことがありません。仕事が忙しいのと、休みの日は家族で過ごしたいので、今まで参加しませんでした。マンションに住んでおり、子どもの友達のつながりで知り合いが増えています。自治会の方は知りませんので、地域の行事も参加しづらいです。

●こども未来部長

例えば、自治会では災害時に備えて自主防災隊を組織しています。

●市長室長

自治会では自主防災隊を組織し、災害に備えていただいています。日本各地で自然災害が発生していて、地震は必ず来るもの、として備えていただくよう呼びかけています。近所の方にお子さんの事を知ってもらっただけでも安心だと思います。お子さんだけで家にいるときがあるかもしれませんが、いつ地震が発生するかは分かりません。例えば、公園で遊んでいるとき、近所の方が声を掛けてくれる関係はありがたいと思います。お子さんのつながりで近所の知合いが広がる人が多いようですが、絆という大袈裟なものではなく、顔見知り程度でも災害時には助かるのではないかと思います。

●マンション内であいさつはしますが、隣近所にどんな方が住んでいるのか分かりません。災害時、頼れるかという点で難しいと思っています。子ども会に入っていますが、土・日曜日に習い事があり家にいないので、行事に参加できていません。本当は参加したいのですがなかなか難しい状況で、つながりはないかと思います。もう少し近所付き合いがあれば良いと感じています。

●こども未来部長

子ども会などお子さん同士で遊びに行こうよ、という話もあるかと思うのですが、やはり習い事で忙しいのですかね。

●平日遊べる場所がなく、小学校まで行かないとサッカーボールを蹴れるところがありません。土・日曜日は別の場所に行って遊んでいます。近くに広場がありましたが、宅地になるということで使えなくなってしまい、子どもたちががっかりしていました。

●住んでいる学区の学校よりも隣の学校の方が近いため、隣の学校に通っています。自治会は学区内の学校の子供が多いので、知っている友達がいません。行事がたくさんある自治会ですが、友達がいないので参加しづらいです。学区の分け方はどうなっているのか疑問です。地域の人は優しく、送迎時など声を掛けてくれるので良い所だと感じています。

●教育総務部長

基本は自治会と学区が合致していますが、一部違う場所もあります。学区が定まらなないと小学校の規模が決まらないため難しい状況です。少しずつ友達を増やしていただきたいと思います。

●こども未来部長

違う学区でも地域行事に参加されていることは素晴らしいです。学区が違っても参加しないこともあります。市で友好都市がある横手市や網走市に子どもたちを連れていく事業がありますが、全く違う学年でも、すぐに友達になることができます。子どもは柔軟性があるので、是非いろいろなお友達を作っていただければと思います。

●子どもが生まれる際、厚木市に引っ越してきました。その時に、自治会に加入して、持ち回りで班長をしています。自治会に入ってきた方で、同じ年齢の子どもがいる方もいたため、それなりのつながりが持っているといます。とはいえ、自治会加入直後は地域のことが分からなかったもので、そういったつながりがないと難しいのではと実感しています。そうでない方にとっては、どういうことをしているのか分からないまま、疎遠になっていく方もいるのではないかと思います。

●こども未来部長

転入された方も若い方から声掛けをしてくれると安心するのではないのでしょうか。また、同世代だと話しやすいかもしれません。

●父親同士はつながりにくい所もあるかと思います。母親たちがいるところの近くにて、話をなんとなく聞いている状態です。

●こども未来部長

その様な輪の中に入ってくれるだけでも違うと思います。災害の時など、いざというときは活動してくれています。

●防犯 SOS メールで不審者情報が発信されていますが、知っている人かどうかで不審者との区別ができると思います。つながりがあって、周りの人を知っているか知らないかは、結構大きな差があると思います。特に子どもたちにとっても違うと思います。

●こども未来部長

子どもが知らない人に声を掛けられていたところを、子ども会で顔見知りだった近所の方が助けてくれたという話もあります。知っている人に声を掛けられれば安心することもあるかもしれませんので、地域のつながりは大事だと思います。

●保護者会で意見を集めたので発表します。土・日曜日は出かけてしまう、子どもの習い事が多くて行きたいけど行けない、といった意見が圧倒的に多かったです。この他にも、無理に行くと親の負担が増えるという意見も多かったです。また、地域の集まりに行くとは必然的に役員をやらされてしまう、という意見や、自治会の集まりに参加しなければ地域の交流が持てないという考え方自体が間違えではないか、という意見もありました。親の負担も増えるので、努力しなければならないところもありますが、学校の通学路の見守りは身近に子どもの安全が守れて、地域にも貢献できるので、そういった活動を増やしてほしい、学校の授業の中で地域との関われる場を持っていただけると、親としてはうれしいという意見がありました。誰もが自治会、地域と関わりを持ちたいのですが、圧倒的に時間が足りないのが現状かなと思います。私自身はアパート住まいで、同じくらいの年頃の方は顔見知りです。自治会費を払っていますが、回覧板や子どもの集まりの情報は入ってきません。周りの方もアパートで自治会に入っていると思いますが、情報が入ってこないという方もいました。自治会費はごみ出しの意味合いもあるので、戸建てでは加入する理由も明確ですが、アパート・マンションとなると、自分がどの自治会なのか、誰が班長か把握できていないので、そういったところで何かできるのかな、という意見が出ていました。

●市長室長

広報紙は届けられていますか。

●広報紙は来ます。自主的に自治会を廃止したという地域もあると聞きました。役員が少なく、回覧板が廃止になるという連絡を受けた方もいました。

●市長室長

自治会廃止の話は初めて聞きました。

●マンションの話かもしれないのですが、お知らせが入ってこないで困っているという意見を聞きました。

●市長室長

回覧板には、市や地域の重要なお知らせを周知する役割があります。

●こども未来部長

通学路の見守りなど、どうなのでしょう。

●学校教育部長

地域の方が子どもたちの通学を見守ってくれているのですが、今年度から自治会を含めたコミ

ユニティスクールという取組が始まりました。学校と保護者、地域が一体となって学校運営に取り組んでいくものです。地域の見守り活動と自治会活動が一体となって、学校をサポートすることで、お子さんを通して地域の方とのつながりができると思います。また、学校を中心とした自治会活動も出てくると思いますので、そういったものに参加していただけると、自然に地域のネットワークへ入っていけるのではと思います。

●教育総務部長

コミュニティスクールは、地域の方 10 から 20 人くらいで学校運営評議会を作ります。学校によっては小中学校で一緒に作っているところがあります。地域の方がそれだけの人数で関わっていますので、知り合いに声を掛け合っていただければ、参加できる活動が広がっていくと思います。

●こども未来部長

自治会費を払ったメリットは何か、という話を聞きます。ごみ集積所の清掃を始め、草刈りなど、自治会の方々は見えないところで地域や子どもを守ってくれています。そういった活動は地域の皆さんで協力していかないとできないと思います。できれば、地域の防災訓練などに年 1 回ぐらいは参加していただきたいと思いますが、それ以外は、子育てが第一です。自分の時間はもちろん、子どもとの時間も大切に、いつか自分の時間に余裕ができたときに、少しでも地域に還元してもらえれば良いと思います。

●住んでいる地区は高齢者が多く、子どもにいろいろと声を掛けてくれて、顔見知りができています。子育て支援センター、児童館に行かせてもらっていて、先生と仲良くなったり、友達もできているので和気あいあいと地域の中でやっています。

●こども未来部長

お子さんは、今は保育所と家との往復のみが多いと思いますが、小学校に上がると社会が何十倍にも広がります。普段から様々な人と接していると、成長できますし柔軟性も育つと思いますので、今の関係を続けていっていただきたいです。

こんなことをやったら地域で仲良くなれた、というような話があればお聴きしたいと思います。また、以前の意見交換会で、小学生のお子さんがいる方から、保育所に通っていたときは心配だったけれども、小学校に上がったらくさん情報が入ってきて助かったよ、という話がありました。小学生のお子さんがいられる方どうでしょうか。

●上の子が小学校中学年です。1 歳前に厚木市に引っ越してきました。保育所に希望を出しましたが待機となったため、託児所付きの会社で仕事をしました。託児所は数人しか子どもがいなかったので、小学校に上がって大丈夫かと心配しましたが、人見知りもなく大丈夫でした。下の子は年長で保育所に入れましたが、もっと早く保育所に入れたかったと思っています。

●こども未来部長

待機ゼロとなるよう、受け入れ数を増やしています。

●市長

東日本大震災の際、一番頼りになって助けてくれたのは近所の方と地元の消防団でした。それぞれの立場の中で忙しいかと思いますが、どこかで地域とつながっていた方が良いと思います。役員は務められないという話をよく聞きますが、誰かがやらないとつながりはなくなります。今は、AI や情報機器が溢れていますが、大事な部分が活字でのやり取りのみでは気持ちが伝わりづらいです。マンションで隣に住んでいる方が分からないという話もありましたが、あいさつだ

けでも気持ちがほぐれてくると思います。家庭を守ることは当然ですが、社会の中では一人では生きていけないことも事実です。気持ちを表に出すことで良い関係が作れると思います。

自治会、子ども会の加入が少なくなっていますが、皆さん一生懸命に取り組んでいただいています。地域で黄色いベストを着て活動してくれている方は、全員ボランティアです。セーフティベストは 8,000 着。皆さん、自らの気持ちで自分たちのやれる範囲の中で見守ってくれています。そういった方たちがいて、子どもたちが育つ環境にあると思います。

皆さんのお話を聴いて、いろいろと考えていられるのだと伝わってきました。

●こども未来部長

今は無理でも、いつかは、という気持ちがあるだけでも違います。年に 1 回でも地域行事に参加してもらい、つながりを持っていただければと思います。

テーマ 2 「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

スマートフォン所持の低年齢化が進んでいると言われています。中学生になるとスマートフォンを持ち始める、無料通話アプリで部活の連絡をする、という話も聞きます。上のお子さんが小学生の場合、いつ機器を持たせるか悩み始める時期ではないでしょうか。保育所のお子さんのみの場合は、今、持たせることはないと思いますが、考えを聴かせていただきたいと思います。また、スマートフォンに限らず、お子さんとの約束事などもあればお話しいたきたいです。

以前の意見交換会では、GPS 機能付きで、通話機能のみのキッズ携帯が安全で、小学生のうちから持たせているという方がいました。

●子ども一人で外に出すことはありません。ファミリーサポートセンターを利用して、公園に行くときも誰かが見守っている状態です。小学校も近くて、横断歩道に誘導してくれる方もいて、地域の声掛けもあるので安心だと思っています。

●保育所に通わせているので、本人にキッズ携帯やタブレットを持たせることはありませんが、小学校入学をキッズ携帯を持たせる機会とした人がいました。また、放課後児童クラブの切り替えの際、小学 3・4 年生で持たせることもあるようです。持たせる際は、アクセス制限をかける、親がそばにいるときのみタブレットを使わせる。中には子どもを信じる、という方もいました。

●こども未来部長

機器を持たせるときの約束事の話はありませんでしたか。

●時間を決める、何かを終わらせてからやるなど、ルールを決めて持たせている方が多いです。これだけ機器が世の中に溢れていると、子どもも興味を持ちます。保育所でも動画やテレビの話題が出てきますが、自分自身で持つのではなく親が管理をしながら見せているという方が多いです。

●社会教育部長

子どもの方が早く機器を使いこなせるようになることが多いですね。

●年長の子どもは私より機器を使いこなせています。最近では、どこかに出かけても、なんでも一人でやりたい、という発言が増えてきています。しかしながら、トイレに行かせるだけでも事件に巻き込まれる御時世なので、親としての葛藤もあると、ほかのお母さんから意見が出ています。

●小学校高学年の子どもがいますが、持たせていないです。親のスマートフォンを使うことがありますが、パスワードを設定しているのに、いつの間にか解除されてしまいます。インターネットの履歴を確認すると、予想もしないところを閲覧していて驚くことがあります。小学校では、使い方など学ぶのでしょうか。

●学校教育部長

スマートフォンの教室を中学校で実施していましたが、誰の家でも通信機器があり、小学生でも機器を持たせている家庭が出てきていることから、今では小学校でも携帯電話教室を実施しています。機器の使い方だけでなく、危険性も教えています。

●小学生の子どもは誕生日プレゼントにスマートフォンが欲しいと言っています。子どもが小学校で勉強して、自分たち、親もきちんと教えられるようになったら渡そうと考えています。もちろん、持たせる際には制限を掛けるなどしますが、中にはそれをせず持たせてしまうこともあるようなので、そういった方向に流されてしまうのではと心配しています。

●学校教育部長

タブレット、スマートフォンが悪い訳ではなく、上手に正しく使えば知識を得ることができる機器です。子どもの安全を見守るという意味では、GPS付きで、今どこにいるか確認できる、欠かせないものになっているような気がします。

最近気になることとして、電車の中で小さなお子さんが、スマートフォンを手に持って動画を視聴している様子を見かけます。また、家事の間に動画を見せればおとなしくなるということで、小さい頃から機器の使用の経験を積んでいる子どもが多くなっています。ゲームを上手にやっているとところも見掛けます。避けられない文化なのかもしれませんが、本当に怖いこととして、依存してしまうことが問題になっています。スマートフォンの依存については病気だといわれています。使い方次第で危険なことに遭う場合もあります。小さい頃から機器に触れていることの危険性が、やがて心配事につながるのではないかと考えています。

どういった危険があるのか教員も知らないといけません。保護者の方にも知っていただきたいので、学校で行う携帯電話教室と一緒に参加してくださいと声掛けをしています。大人もこういうことが問題になっていて、何が危険につながるのかを知る必要があると思います。そういう機会を教育委員会で考えていきたいと思います。

●社会教育部長

配布している資料で「ケータイ・スマホの正しい使い方」というパンフレットがあります。今後、未就学のお子さんを対象にしなければならないこともあるかもしれません。新聞で10歳以下のお子さんもゲーム依存にかかるケースが増えているという記事がありました。機器の使用はどんどん低年齢化しています。最初の約束が非常に大切になってきます。

●子どもは小学生が2人、園児が1人います。小学生は行動する範囲が広がり、どこにいるのか分からなくなるので、キッズ携帯を持たせました。スマートフォンの依存は、外で遊ぶ場が少ないので、そこにつながってしまうのだと思います。ゲームは15分と決めています。土・日曜日が雨だと市内には遊びに行くところがないので、横浜市まで遊びに行くことがあります。遊んでいる間はタブレットを欲しいとは言いません。暇を持て余す時間があるからそうなるのだと思います。子育て支援センターは小さい子は遊べますが、大きい子は児童館に行くことしかできなくて、遊びが限られると児童館に集まってスマートフォンをいじっています。せっかくの遊びの場なのに、それではここに来る必要はないのでは、とってしまいます。

●こども未来部長

児童館は原則、スマートフォンの使用を禁止しているのですが、指導員の目が届かないところでやっているのでしょうか。

●児童館の端っこなど、指導員さんの目が届かない場所かもしれません。遊びの場なのに何だろうと感じます。学習システムも小学校でタブレットが導入されて、その延長でゲームをやっています。タブレットは便利ですが、良い点と悪い点があると感じています。

●社会教育部長

スマートフォン、タブレットの使用は、これからの時代、仕方のないことかもしれません。

●上の子はキッズ携帯を持たせています。行動範囲が広くて、びっくりすることがあります。何かあった際に連絡が取れないことが不安なので、持たせています。また、持っているから安心という考えがあるので、無くしてしまったときの対策として、紙に連絡先を書いて持たせていて、公衆電話を使えるように練習させています。コンビニエンスストアで電話を借りることも教えています。テレホンカードを買ってお財布の中に入れてあります。

●市長

初めて聞きました。お子さんの安全のための工夫ですね。

●社会教育部長

公衆電話も少なくなってきましたね。

●こども未来部長

コンビニエンスストアで声を掛けることを教えることは良いですね。

●実際にキッズ携帯を忘れた際、コンビニエンスストアから電話をかけてきたことがあります。

●教育総務部長

コンビニエンスストアの店員に声を掛けることができたのですね。

●市長

駆け込みポイントもありますが、コンビニエンスストアにも協力をお願いできると良いですね。

●社会教育部長

一部のコンビニエンスストアは、店員が友達のように接してくれているところもあります。

●住んでいる地域のコンビニエンスストアは、店員も親切で公衆電話もあります。

●公衆電話はボタンを押すことに苦戦してしまうので、練習をさせています。

●社会教育部長

出かけるときに電話番号を書いて持たせることは良いですね。

●小学校中学年2人と年長の子供がいます。上の子は2年生から、留守番の練習をさせるためにキッズ携帯を持たせました。両親と会社の電話番号のみを登録しています。学校から帰ったという報告のメール、誰とどこに遊びに行くかのメール、遊びから家に帰ってきたというメールをするように約束していて、継続できています。遊びに行くときは、必ず学校で誰とどこに遊びに行くのかを決めるようにさせています。今はキッズ携帯ですが、スマートフォンが欲しいと言われています。夫と私の機器は触らせません。ゲームは30分と決めていて、あとは兄弟で遊ぶようにさせています。しかし、学校の元気塾に通ってタブレットが面白かったらしく、そのときは家でタブレットを用意するか考えました。夫と相談して小学生のうちはタブレット、スマートフォンは持たせないと決め、中学校に上がったなら、周りがどのくらい持っているか状況を見てから考えようと思います。

●社会教育部長

ほんの少し前は高校生でスマートフォンを持たせるかどうか、と話していた時代でした。

●中学校の部活で必要になってしまうかもしれないですし、周りが持っていたら考えます。小学生でスマートフォンは必要ないと考えています。

●社会教育部長

初めのルール作りが大切になります。

●持たせることは、考えたことはありません。ただ、スマートフォンで遊びたがるので、時間を決めて使わせています。子どもはやりたい内容が決まっているので依存などの心配はしていませんが、動画などに興味がなくて、小学校で周りの話題についていけなくなるのではと心配しています。

●こども未来部長

話題についていけない心配はありますよね。子どもは機器の使い方を年上の子から教わってることがあります。小学校で携帯電話教室を実施していますので、親子で受けなければならない時代になっているのだと思います。

●年中と年少の子どもがいます。キッズ携帯を持たせることを考えたことはありませんが、タブレットと一緒に見ることはあります。小さい頃、電車やバス移動で泣いたりすると乗りづらいこともあるので、そういう時に動画を見せたことがあります。見ている間はおとなしくしてくれます。大きくなっても動画が好きで、友達と動画の話になると、子ども自身で動画を検索することがあります。ゲームでこれをやりたい、と言われることもあります。おもちゃで遊んでいて、動画を見ない日もあれば、今日はこれを見たい、と言われることもあります。時間を決めたり、視聴は1つだけと話す納得してくれるので依存はしていないと思います。小学校で携帯電話を持たせるか考えはつきませんが、親戚の子どもは中学校に入ってスマートフォンを持たせたそうです。中学校の部活や親同士の連絡が無料通話アプリだと聞いているので、中学生になったらスマートフォンを買わなくてはならないかと考えています。

●こども未来部長

青少年健全育成協議会でスマートフォンの教室を行っていて、今年はWebカウンセリング協会の先生をお呼びし、私たちも勉強しています。スマートフォンは便利で賢く使えば良いのですが、怖い事件もあるということを知っていてほしいです。今は、レンタルショップで契約書無しで機器を買うことができます。親が知らなくても、子どもが機器を持っているということがあるそうです。また、機器の操作方法等を中・高校生の兄弟から教わることもあり、機器を持たせていない子どもでも、あっという間に使えるようになってしまうという例があります。私たちも勉強をしていかないと、追いつかないと感ずることがあります。講座もいろいろとありますので、広報紙等を見ていただきたいと思います。

●市長室長

たくさんのお意見をいただき、私たちも初めて気付かされたようなお話がありました。大変参考になりました。ありがとうございました。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(3)幼稚園

日時 10月2日(火) 午前10時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム2

テーマ1「地域での子育て支援について」

●こども未来部長

近年、厚木市においても、共働き世帯や核家族世帯が増え、皆さんのお仕事が忙しいこともあり、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったように感じています。

こういったことを背景に、厚木市では県内で初めて「子ども育成条例」を策定しました。その理念は、「地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になろう」というものです。地域では、青少年健全育成関係団体の皆さんや自治会の方々、愛の目運動の皆さんなど、たくさんの方が様々な方法で子育て世帯を見守ってくれています。地域全体で子育てをすることは、子どもにとってもプラスになりますし、保護者にとっても地域に溶け込み、いざというときに助け合えるなどプラスになると言われています。ぜひ地域の方々とのつながりを持っていただきたいと思っているのですが、なかなかつながりが持ちにくいという声もお聴きしています。

そこで、本日お聴きしたいこととして、1つ目は、皆様が地域の方々とどのようなつながりを持っているのか、2つ目は、つながりが持てない理由をお聴きしたいと考えています。具体的には、地域の自治会などの行事に参加しているのか、参加できない理由があれば、それを取り払い、地域に溶け込んでほしいと思っています。

●住んでいる地域は、自治会で桜祭りや盆踊りなど行事が多くあるところなので、私の子どもも、近所の友達と一緒に参加しています。自治会に加入しています。

●こども未来部長

地域に入りづらかったり、入って困ったことなどはありましたか。

●役員が5年に1度回ってきますが、自治会の方から話を聞くこともできるので、そんなに負担ではありません。

●自治会に入っています。子どもが3人おり、近所の方に助けられています。台風の後、特に声掛けはないのですが、自然と道路を掃除する人が出てきていました。用事などで出てこれない人の所も、皆でしゃべりながら掃除をしていました。自治会の運動会がもうすぐで、家族で参加しようと考えています。上の子が中学生で、下の子の面倒を見てくれますが、周りの人も面倒を見てくれて、地域となるべく関わりを持つようにしています。

●こども未来部長

小・中学生くらいの子がいると、地域の情報が入りやすくなりますよね。

●そうですね。

●圏央道ができた関係で一気に家が建ち、同じくらいの子どもがいる家族や年配の方が住んでいる所です。引っ越してきた際に、自治会の方が自治会加入の勧誘に来ました。周りの人の意見を聞いたところ、入った方が良いとのことで加入しました。子どもが2人おり、上の子が小学生で地域のイベントに行きたがるので、家族で出かけます。地域とのつながりが薄いとは感じていません。

●自治会に入っています。自治会の役員が回ってきたときは役割をこなしますが、自治会活動に積極的に関わってはいませんでした。子どもができると、夏祭りなどの行事に参加するようになりましたが、まだ地域との関係は希薄です。子どもが小学校に入って、地域の行事などに行くようになるにつなかりが持てるのではないかなと考えています。近くの公園は砂ぼこりがすごいで、子どもを公園に連れて行くことは、あまりなかったです。中央公園のような、砂ぼこりが発生しないような対策をしている公園が増えると良いなと思います。

●市長室長

芝生があった方が、子どもたちのためにも良いですかね。

●こども未来部長

冊子「おおきくなーれ」には、公園マップがありますので、是非御活用ください。普段は隣近所であいさつはされているのでしょうか。

●生活リズムが違うので、会うことはあまりありませんが、あいさつはしています。

●こども未来部長

顔見知りというだけでも良いと思います。

●自治会には入っていますが、子ども会には入っていません。3人子どもがおり、上の子は集団行動が苦手だったので、子ども会は辞退しました。2人目の子も入っていないです。しかし、地域の夏祭りや運動会は積極的に参加しています。幼稚園の役員をやり始め、自分に余裕もでき、3番目の子は集団でいることが好きなので、本人に興味があってやりたいようなら、子ども会に加入させようか検討しています。子どもの性格や考えを尊重して考えています。

●こども未来部長

大変なこともあります、楽しいこともたくさんあります。

●子ども会の役員は大変だと、話を聞いています。入らなくて済むのなら、それでよいのかな、という気持ちもあります。

●こども未来部長

私自身子ども会の役員をやっていたことがありました。大変でしたが、会長に提案をしたり、思いを伝えることなどで、運営が楽になったこともありました。

●回覧板やポスターで、地域の防災訓練や夏祭り、運動会、自治会などの行事を知って、予定が合えば参加しています。特に児童館を利用することが多く、場所を借りて子育てサークルに参加することで、親子で友達もできました。指導員も顔をすぐに覚えてくれて行きやすかったです。

●こども未来部長

児童館や子育て支援センターには先生がいますので、間に入って話をしてくれます。そのため、児童館デビューは楽だと言われています。市内には児童館が37館あって、子どもが歩いて行ける場所に必ず1館はある状況です。是非御活用ください。ほかに何か困ったことなどはありませんか。

●困ったことはないです。近所の方とも密な会話もできますし、回覧板を持ってきてくれます。

●自治会には入っていますが、子ども会がない地区です。上の子は高校生で、その子が小学校に入ったときには子ども会はありませんでした。子どもがソフトボールを始めたことがきっかけで、地域との交流が生まれました。地域の運動会などには、ソフトボールのチームで参加しています。親も一緒に参加して、すごく楽しかったです。自治会の役員が回ってきたときも、様々な行事に関わって楽しかったです。参加する理由があると出ますが、子どもが友達と誘い合うなど、自主

的に参加するということはありません。隣に小さい公園があり、今は子ども一人で遊ばせることはありませんが、小学生になったら遊ばせようと考えています。小学校に入ると子ども同士のつながりもできるでしょうし、交流が広がると考えています。自治会の1つの班で20軒あるところに住んでいて、次に役員が回ってくるのは20年後です。軒数も多いため回覧板が2つ回ってきます。家同士の行き来はありませんが、道端で話すなど、住民同士のコミュニケーションは取れていると思います。

●こども未来部長

1つの班が20軒だと、数が多いですね。

●分けることが難しいようで、一緒になったようです。

●子どもが2人います。自治会行事などには積極的に参加していて、御近所の方ともあいさつをしています。夫が消防署に務めていて、災害時には出勤するため、御近所の方々に迷惑をかけてしまうことや協力をさせていただくこともあると感じており、日ごろから子どもの顔を知ってもらえるように心がけています。ただ、いろいろなお母さん方と話をする、最近は小さい子が巻き込まれる事件もあり、犯人は近所の方ということもあったので、あまり顔を知られるのもどうか、という意見もあります。正解はないと思いますが、近所の方にはあいさつをするように、子どもたちに言っています。様々な人と積極的に関わるようにしてほしいなと思っています。

●こども未来部長

普段は良いのかもしれませんが、災害時は協力していただくことがありますよね。今までの意見交換の中でも、近所の方と親しくなりたいけれども、危ない人がいるかもしれないので怖い、という意見がありました。もちろん親切な方はたくさんいますので、判断する力を持たないといけないのだと思います。

●自治会も子ども会も入っていません。他県から引っ越してきて、加入の声掛けをいただきましたが、当時は子どもがいなかったため辞退しました。後に子どもができ、忙しくしているうちに現在に至っています。近所に小さなお子さんがいて、子ども会を辞めたと聞きました。行事の準備は拘束時間が多く大変で、子どもがいても入りたくない考える人が多いようです。住んでいる区域の20軒の内、以前は半分入っていたそうですが、今は誰も入っていないそうです。小学生になると子ども同士で夏祭りなどに行きたがると思うので、入っていないと子どもが嫌な思いをするのではと考えますが、役員の仕事が大変だという話や、知り合いが誰も入っていないと敷居が高く感じてしまいます。

●こども未来部長

御自身が小さい頃、子ども会に入っていた方はいられますか。入っていて楽しかった思い出もあるのではないのでしょうか。今のお子さんにも経験をしていただきたいのですが、親の負担が大きくなってしまったため、加入をためらってしまったたり、役員のなり手がなかったりする状況です。台風の後、地区で掃除をしていただけた話をされていましたが、誰かがやらないと自分の生活環境は良くはならないですし、子どもを育てやすい環境にもならないと思います。自分はやりたくないけれども、誰かにやってほしいというのは難しいです。今は子育てが第一ですので、皆さんのお子さんが大きくなって、いつか時間に余裕ができたなら、協力してもらえればうれしいです。今回のテーマについて、幼稚園で話し合われたことはありますか。

●PTAの話し合いでは、「地域や自治会によって、活動内容に差がある」、「自治会に加入してなくても、地域が開催するイベントに参加できることをポスターなどで周知してほしい」、「行事

には参加させたいけれども、加入していないと出にくい」という意見が出ました。また、自分は加入しているけれども、一緒に行きたい友達は加入していなくて、イベントがあること自体を知らないこともあるようです。子どもに対しては分かりやすく周知をしてほしい、という声が上がっています。

●こども未来部長

児童館や公民館にはポスターを掲示していますが、見に行くことは難しいですかね。

●家までの通り道に掲示板がないと分からないと思います。

●こども未来部長

小学校に上がると比較的情報は入りやすいのですが、今はまだそこまでのネットワークはないということですね。

●市長室長

自治会に加入されていなくても、受け入れてくれるところがほとんどだと思います。中には夏祭りの食券など、自治会に加入していないと事前にもらえない所もあるようですが、参加を断られるようなことはないと思います。しかし、加入していないと参加しづらいですかね。

●教育総務部長

自治会によっては、当日券の配布など柔軟な対応をされているところがあります。

●こども未来部長

子ども会は違う地区でも入れます。子ども会連絡協議会では「あの子も、この子も、みんなの子」を合い言葉に、子ども会で一緒に活動しましょうと呼びかけています。様々な年代の子どもや大人と接することは、とても良い経験になります。小学校に上がると子ども会加入の話もありますので、是非お話を聞いてみてください。

●市長

私も子どもが小さい頃、子ども会に加入していました。皆で旅行に行ったり、料理を作って食べたりしました。当時は、子ども会に入りたくないとか、そういった話はあまりありませんでした。加入している、していないで対応に差はなかったです。子どもは、子ども会に入りたいと考えているかもしれませんが、親が大変になってしまうからという理由で、親が加入の是非を判断していることが問題なのだと思います。先ほど、皆さんが子どもの頃、子ども会に入っていたかどうかという質問がありました。私たちは、子どもの頃に受けた子ども会の良さを、今度は自分の子どもたちに伝える番なのではないかと思っています。確かに、役員とそうでない場合では仕事量の違いはあります。しかし、皆で集まって前向きな会話ができて、役員を引き受けたいくなるような雰囲気にとできると、子どもも喜ぶのではないのでしょうか。このままでは、子どものための子ども会なのに、大人の事情を挟むことで、地域の子どもたちが楽しめる場を失ってしまうことになりかねません。

現在、自治会は 217 ありますが、一番の悩みは加入者が減ってきていることです。東日本大震災の際、一番手助けをしてくれたのは近所の方でした。それは、顔見知りであったり、普段からつながりがないとできないことだと思います。厚木市も職員を派遣しました。その日、現地付近まで行くことができましたが、救出できた人はほとんど亡くなっていました。

近所の人と知り合うことが怖いという人もいますが、あいさつができる関係を作っておけば良いと思います。普段見かけない人にも声を掛けて、態度がおかしかったら気を付けておくこともできます。

10月に入庁した新採用職員にあいさつをするように言いました。あいさつをしないと、地域や友達、人はつながってきません。人と人がしっかりとつながったコミュニティは、地域を上げると私は思っています。子育て環境日本一を目指す原点には、子どもも大人もつながっている社会があります。日本一のコミュニティを築き、幸せ感、満足感につながる社会にしていきたい。これが厚木市の最終的な目標です。

私たちが受けた恩を、工夫をして、子どもたちに伝えていくことが親の役割ではないでしょうか。そのために私たちは皆さんを応援します。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●社会教育部長

子どもが高校生になったら携帯電話を持たせるか考えていた時代から、今では中学生になったらスマートフォンを持たせるか考える時代になりました。情報機器は溢れており、これからどうなるか不安なこともあるかと思います。本日参加されている方は、小学生以上のお子さんをお持ちの方もいらっしゃるようですので、機器を持たせた際のきっかけや約束事など、お話を聴かせていただければと思います。

●GPS機能、通話機能が付いている機器を、小学3年生くらいになったら持たせようかと考えています。集団登校がない地区なので、心配で持たせたいと思っています。

●学校教育部長

キッズ携帯の機能には、GPSで居場所が特定できる、子どもがSOSを発信すると親につながるなどあります。不審者から子どもを守りたいという親の気持ちを考えると、そういった機器を持たせる理由も良く分かります。ただ、小学校に機器を持っていくことはどうなのか。また、スマートフォンへの切り替えの時期は。初めは防犯上のツールとして持たせていたのかもしれませんが、後に目的が変わっていくような気がします。

●近所の方に話を聞くと、小学3・4年生くらいからキッズ携帯を持たせている家庭が多いかなと感じました。私の同級生で、高校生のお子さんがある方と話をしたところ、周りの皆よりもスマートフォンを早く持たせたそうです。悪いことなどを勉強させるため、周りから情報を得るのではなく、自分で勉強をさせるために持たせたそうです。ただ、自分の子どもとなると、早く与えるのはどうかと、感じているところがあります。

●幼稚園で上の子がいる方の話では、塾に通い始めたきっかけで携帯電話を持たせて、中学生でスマートフォンを持たせているようです。皆さん、理想は高校生からスマートフォンを持たせたいと考えているようです。ただ、私としては、今の時代、高校生からスマートフォンを持たせるのは親が大変ではないかと考えています。私の子どもには、中学1年生で携帯電話を持たせ、高校生でスマートフォンを持たせました。中学生で携帯電話を持たせたので、3年間スマートフォンを我慢させました。後輩ですらスマートフォンを持っていて、携帯電話が恥ずかしかったようですが、本人も受験を前にスマートフォンを持つと依存してしまうと思っていたようです。中学校の部活の連絡は、先生や部長からは電話ですが、部員間で無料通話アプリになります。そういったときに、自分の子どもが機器を持っていなかった場合、友達関係にも影響するのではないかと感じました。他の家庭では、スマートフォンを持たせる条件として、リビングだけで使用・充

電をすること、夜の使用は禁止、中学生くらいまでは、親の物を借りて使っているため、やり取りを確認することを了承させる、などの約束をしていました。

●社会教育部長

初めに約束事をきちんと決めることは大事だと思います。それがないと、友達など周りから情報がたくさん入ってくるので、我慢できなくなってきました。

●自宅から小学校まで徒歩 50 分かかると聞いたので、GPS 目的でキッズ携帯を小学生から持たせようと考えています。年上のお子さんがある方の話では、スマートフォンを持つきっかけは小学校高学年、中学校の部活関連で、機器を持たせる際は時間を決めるなど約束をしているそうです。

●学校教育部長

本来学校としては、スマートフォンを持たせたくないと考えていますが、学校側が機器を持つきっかけを作ってしまったという話を聞きます。基本的には、先生が無料通話アプリで連絡をすることはありません。先生から部活の代表には電話で連絡をしますが、そこから先の連絡手段が無料通話アプリになってしまっていると聞いています。スマートフォンは全員が持っている訳ではないので、持っていることを前提として連絡手段がおかしいことだと思います。部活に入ったらスマートフォンを買わなくてはならないのかと思われる保護者の方も多いと思います。学校として考えていかななくてはならないことだと思います。

●子どもが3人おり、中学生の上の子には、小学6年生のころからスマートフォンを持ちたいと言われていました。学校のクラス35人中、30人ぐらいいは機器を持っていたようです。ただ、皆が持っているから、持つということは理由にならないですし、中学校の部活では朝練もなく、遅くまで活動をするということもないため必要性を感じていませんでした。リビングでタブレットのゲームができるので良いと考えていました。中学2年生の夏までは我慢をさせていましたが、自分の要求が通らないことに対して、親から見ても我慢の限界を感じたので、家族会議を行いました。夫は最後までスマートフォンを持たせたくはなかったのですが、条件付きで持たせました。苦渋の判断で持たせるということ、子どもも気づいてくれていると思います。持たせてから2ヶ月経ち、部屋で使用していることもありますが、深夜は電池残量がなくなっていますし、食事の時には使用しないなど、目に余るような使い方はしていません。むしろ、いつ帰ってくるか知らせてくれるので、親としては便利だなと感じています。目に余るときは取り上げると子どもと約束しています。この前の台風の際、夜中に友達との無料通話アプリのやり取りで盛り上がったようで、約束の終了時刻を過ぎてもやりたいと言われましたが、認めませんでした。結果的には持たせて良かったと、今のところ思っています。ただ、それを見ている小学生の下の子が持ちたがり始めています。中学生になったら持たせるのか。高学年の時点で機器を半数が持っている状況なので、我慢しなさいと、また子どもと話し合うことが見えている状態です。

●社会教育部長

話し合いを持たれたということが大切ですね。

●話し合いをして良かったなと思っています。

●教育総務部長

親がパスワード設定などをしていて、子どもが分からないようにしているのですかね。

●夫がパスワードを設定していて、私にも分かりません。こちらからは何も言っていないのですが、本人の中で、テストの点数が下がることがないようにしているようです。勉強とスマートフ

オンのつながりはないと考えているのですが、無理を言って機器を持たせてもらったと本人が考えているようで、勉強でカバーすると宣言しています。テストの点数も自分で設定していて、部屋で友達と勉強を教え合うことに無料通話アプリを使っています。うまく使ってくれている感じです。

●こども未来部長

悪いことだけではなく、良い使い方もありますよね。

●皆が持っているから持たせるということはさせたくなくて、話し合いの場を真剣に持ちました。

●こども未来部長

親の本気は、子どもに伝わりますよね。

●幼稚園のほかの方の意見として、「時間や場所を決めて使用する」、「登下校時に持たせたいが学校が許可しない」、「部活の連絡手段として、無料通話アプリを強制的に使用させている」という話がありますが、機器を持たない子どももいるので教育現場でそれを推奨することはどうなのだろうという意見がありました。

●学校教育部長

基本的には学校側が推奨するという事はしていません。機器がないと学校から連絡が来ないと、子どもが親に言っているのでは、という感じもします。ただ、機器はこれからも必要なもので、我々も持っていないと生活に支障をきたします。機器が悪いのではなく、使い方が悪いのが問題です。便利な物をいつまでも持たせないでいられるとは限りません。考えていくことが必要と感じます。皆さんの御意見がとても参考になります。

●こども未来部長

登下校で50分かかるとなると、帰り道が暗くなってしまう心配になりますよね。

●女の子の場合はもっと心配だと思います。

●学校教育部長

家に着いたら帰ってきたことも分かります。今後、学校側としても、機器について考えないといけないと思います。

●個人的には、スマートフォンは高校生ぐらいまで持たせたくないと考えています。ただ、自分の頃を振り返ると、高校生で携帯電話を買ってもらっていた時代なので、今の子どもに高校生まで待たせることは難しいと考えています。子どもはアレルギーがあり、小学生になって外で勝手に食べ物をもらってはいけないと説明していますが、心配なので1年生になるタイミングでキッズ携帯を持たせました。通話やメールは親が登録した人としかできません、また、GPS機能や防犯ブザーを使うと親に連絡が来るようになっています。持たせて良かったと思っていますが、小学校には基本的に機器を持たせてこないように、持たせるなら家に帰ってからにしてくださいと言われています。今は子どもたちの間で動画が話題になっています。個人的には見せたくないと思っていますが、見たいと言われるので、夫の機器で、夫と一緒に見るように話しています。小学校の授業でタブレットを使っていることが衝撃的で、いつまでも避けては通れないと、使い方次第では良いものでもありますし、全く使えないと本人が困ることもあるので難しいなと思っています。

●社会教育部長

今では、タブレット端末が無料で付いてくる時代ですからね。

●高校生から持たせれば良いのでは、と考えています。中学校の懇談会でスマートフォンの使い

方について話をしたところ、クラスの3分の1くらいが持っていて、制限をかけるなどしているようです。中には、無料通話アプリのメッセージが朝になると200件もあったという話がありました。子どもは部活に入っていて、無料通話アプリでのやり取りもありますが、学校の手紙や先生から連絡が来るので困ってはいません。親同士でグループを作って、情報交換をしています。また、子どもの友達が私に無料通話アプリで細かく連絡をくれています。子どもには、携帯電話なら持たせても良いと話していますが、無料通話アプリができないのが嫌なようで、それなら我慢するようにと言っています。中学生の上の子は夜10時頃まで友達と塾に通っていて、歩いて行ける距離ですが、少しの距離でも事件に巻き込まれることがあるので、友達の親とどちらかが必ず迎えに行くようにしています。このままの状況が続けば高校生でスマホデビューさせたいと考えています。

●上の子は小学生ですが、キッズ携帯も持っていないです。小学生に上がって携帯を持たせた方の話では、親が共働きであることや、お子さんの習い事などで一人になることがあるため持たせているそうです。私の子どもも習い事をしていますが、送り迎えをしていますし、遊びに行くときは下の子と私も一緒に行くので問題はありません。習い事に一人で行くようになったら、キッズ携帯を持たせようかと考えています。周りの方は、中学校入学のタイミングでスマートフォンを持たせようかと話をしていて、きっかけは部活だという方が何人かいました。幼稚園の役員の連絡は、無料通話アプリで全てやり取りをしています。大人が必要な連絡だけでも大変なのに、子どもも、グループをたくさん作ってやりとりをしなければならないのか、または、知らないところでグループを作られて、仲間はずれになってしまうのか心配です。無料通話アプリのやり取りではなく、直接話をすれば良い、と考えられる子になってくれると一番良いなと思っています。ただ、今の御時世ではどうなるか分からないので、中学校入学のタイミングで悩むと思います。

●市長室長

それぞれの御家庭のお話を聴かせていただき、大変参考になりました。ありがとうございました。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(4)小学校

日時 10 月 15 日 (月) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 2

テーマ 1 「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こうしたことを背景に、平成 24 年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

また、今年 6 月から、地域の方が学校の運営に関わっていただくコミュニティスクールを全小中学校で導入しました。運営協議会を中心に、より多くの方に、学校、子どもの授業の支援に関わっていただきたいと考えています。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、こういった理由で参加できないかをお聞きしたいと考えています。

●自治会の方が家に自治会加入の勧誘に来られましたが、初めはお断りしました。その後、交通安全母の会に入り、自治会の方と知り合い、それを機に加入をしました。地域行事に参加して、地域に子どもがどれだけいるのか知ることができました。参加する大人は毎回一緒なので、その中でコミュニケーションがとれています。きっかけがないと地域に入ることは難しいと痛感しています。夫が単身赴任をしていて、地域とは溶け込めないと考えていたのですが、交通安全母の会に入り、地域の活動に参加できて良かったです。最近では、地域の運動会に参加しました。楽しかったです。

●教育長

地域の運動会に小学生がたくさん参加されていましたね。

●こども未来部長

引っ越して来られたのですね。母の会の活動を通して加入されたのですね。

●市長

地域に溶け込めることができて良かったです。

●教育総務部長

自治会に入って良かったと感じられましたか。

●何かあった際、周りの方と知り合いですと気持ちの余裕にもつながります。地域の活動に参加できて良かったです。

●学校の話し合いで出た意見です。地域の集まりに参加している人よりも、参加していない人の意見が多かったです。学区の境目に住んでいて、自治会内は知らない人ばかりなので地域の行事

には出ないという意見や、マンションなどで自治会に入っていないこともあり、参加して良いのか悩むようです。

●教育総務部長

学区と自治会が違う所が一部あります。やはり、参加しづらいですかね。

●お知らせなどで住んでいる地域の情報も入りますが、学区が違くと参加しづらいです。

●現在は、住んでいる学区とは違う、隣の学区の小学校に通っています。1年間は住んでいる学区の小学校に通っていましたが、隣の学区の小学校への誘いがあり、見学した際すばらしい小学校だったため、子どもと相談して転校しました。現在通っている小学校の取組は地域と密着している感じだと驚くことがあります。行事などは誰が何をやるか分担が決まっていて、たくさん活動されていることを知りました。やると楽しいですし、子どもたちも参加して楽しいようです。やって良かったなと思います。小学校側の自治会に入っていて、住んでいる学区の小学校の友達に行事のお誘いをしますが、やはり、小学校が違くと参加は難しいと感じます。住んでいる地域の自治会のチラシなどは来ないので、そちらへは友達から話を聞いて行きます。地域や学校が選べると、逆に難しいなと感じます。

●教育総務部長

学校が変わることで、自治会の活動に参加するようになったのですね。

●そうですね。地域の運動会にも参加しました。

●教育総務部長

住んでいる地域の自治会には入られていませんが、行事に行くと参加させてもらえますか。

●夏祭りに参加しました。ただ、お楽しみ券がなくて、景品がもらえないことがあります。

●市外にいましたが地元に戻ってきました。学区内で、子どもが多い地区と少ない地区との差が顕著です。開発が進んでいる所は家が建ち、子どもが非常に多くなっています。そのため、子ども会の活動が盛んで、地区の8割、人数で言えば70人近くの子どものがいます。子ども会がきっかけとなって地域活動に参加される世帯もあり、入口としては良いのではと感じています。学区全体で子どもが参加できるものがあると良いのではと感じています。

●教育総務部長

地元ということもあり、地域の活動に入りやすかったこともあったかのだと思います。活動に参加されていない方の意見などを聞かれたことはありませんか。

●共働きで役員を務めることが難しかったり、子どもはスポーツや塾などで忙しいこともあり、子ども会の活動とは一線を引いている方もいるようです。

●地元の人が多い地域で、自治会には皆さん参加しているようです。家に自治会の加入のお誘いの方が来られて、加入しました。地域の方々と仲良くなるうちに、夫が役員を務めるようになりました。子どもたちは地域の運動会などに参加して、楽しい思い出もたくさんしています。PTA、子ども会などの仕事は、みんなが当たるようになっています。自治会活動に協力的な地域です。

●夫の両親が自治会に入っていたので、同じく入りました。役員は上の年代の方がやっています。自治会の仕事は当番制です。行事に参加できる人は、回覧板が回ってきたときに名前を書きます。子どもたちは子ども会で参加することが決まっています。地域の運動会にも参加しました。学校でもチラシを置いているので、子ども会に入っていない人も参加できます。清掃など自治会の年配の方中心で行われています。交流というほどではありませんが、自治会に入っていない人も、来るもの拒まずの地域です。

●5年ほど前に今住んでいる所に引っ越して、自治会の方が勧誘に来られたので加入しました。自治会に入って、たくさん情報を知ることができました。夫は平日お休みで、土・日曜日は子どもが習い事なので、地域の運動会などには参加できていません。地域の行事は土・日曜日が多く、子どもは参加したいようですが、習い事を休ませてまで参加するのはどうかと考えてしまいます。数年前、運動会の日程がずれたため、その際は参加させてもらいました。参加者数が少なく、対象競技は全部出してくれと言われました。いろいろと負担が大きいと感じました。子ども会については、子どもが少なく、行事は年に数回です。子ども会に入ると役員もやることになります。地域の方と接する機会が増えて来て、皆さんに支えられながら子育てができていると、少しずつ感じています。子ども会は、ゆくゆくはなくなってしまうのかと思っています。

●教育総務部長

地域の人に支えられていることを感じられているんですね。

●10年前に厚木市の社宅に引っ越してきました。入居する前に会社から自治会に加入するように言われていたので、すんなり自治会に入りました。住んでいるところは子ども会がありません。その代わりに、自治会と児童館で子どもを対象としたイベントが頻繁に開催されているので、ありがたいです。子ども会がなくても、自治会と子どもたちがコミュニケーションをとれる状態です。学校で話し合ったところ、「自治会や子ども会の催し物、活動状況をパソコンや携帯で確認できるようにしてほしい」という意見がありました。回覧板やポスターなどの紙媒体が中心で、自治会のホームページはあるのでしょうか。何でもインターネットの時代なので、専用のホームページがあると、若い世代の保護者も行事を身近に感じられるのではないのでしょうか。

●教育総務部長

自治会連絡協議会のホームページはありますが、全ての自治会ごとに作成することは難しいと思います。災害時など、地域の支援が重要になると感じています。地域の方が顔を知ってくれているだけでも、対応が違うのではと思います。今年、全学校でコミュニティスクールを導入しました。現在、情報機器が溢れていますが、国でも、できるだけ多くの人と関わる事、コミュニケーション能力や感受性を養うことが大事であると考えられています。

●市長

あいさつがあるだけでも、顔を覚えてもらえます。

●社会教育部長

本日参加されている皆さんは、ほとんどの方が自治会に入られていますね。

●こども未来部長

自治会の方々は見守り活動やごみ集積所の清掃など、地域を守ってくれています。見えないところで、様々な人に支えられています。子どもは、学校と家との往復だけではなく、いろいろな世代の方と会うことが成長の糧になります。役員が大変でやらないというお話もありますが、私たちが受けていたことをいつか返していただければうれしいなと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。中学校になると、かなりの子どもがスマート

フォンを持っている印象です。もちろん、持っていない子もたくさんいます。スマートフォンについては、無料通話アプリのトラブルの話をよく聞きます。小学生でキッズ携帯を持たせている場合、いずれはスマートフォンデビューとなります。スマートフォンをいつから持たせるのか、持たせた際、トラブルからどう子どもを守るのか御意見をお伺いしたいです。中学生、高校生のお子さんがいられる方は、どの時期にスマートフォンデビューをしたか、機器を持たせたきっかけ、持たせることによる悩み事、約束事などをお聴きしたいです。

●小学校中学年、来年小学校に入る子どもがいます。まだ携帯電話は持たせていません。スマートフォンは高校生からと考えています。中学生のお子さんがある方から、部活の連絡が無料通話アプリになると聞いていて、中学校で部活に入ったら持たないといけないのかも、と聞いています。今のところ部活と縁がないのでどうなるか。一人だけ機器を持たずに仲間外れなどの問題があると困りますし、本人が部活をするかによって考えようと思います。

●こども未来部長

キッズ携帯も持っていないませんか。欲しいと言われませんか。

●言わないです。キッズ携帯を持っている子もいますが、少数です。小学校高学年になって塾に通わせる場合、キッズ携帯くらいは持たせるべきかと迷うところです。

●学校教育部長

スマートフォンを持つきっかけが、「中学校の部活の連絡が無料通話アプリのため」という話を聞きます。ただ、全ての子が機器を持っているというわけではありません。学校の顧問には無料通話アプリでの連絡はしないように指導しています。部活の連絡は、顧問から部活の代表の方に電話連絡をしており、その後部員間で無料通話アプリになるようです。今では、無料通話アプリをやっていない大人も少なく、親のグループを作って連絡を取り合うこともあるようです。ただ、持っていることを前提とした連絡手段はおかしいことだと思います。キッズ携帯の機能として、GPSで居場所が特定できます。持たせることで安心できますが、一番は人の目が大切で、自治会や地域の力が、子どもを守るための一番の力となります。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。機器は持たせていません。友達何人かがキッズ携帯を持っていて、欲しいと言われましたが、本人が稼げるまでは持たせない方針です。ただ、中学生になると部活の連絡が無料通話アプリで、持っていないと保護者に連絡が行くようになると聞いているので、中学生になったら周りの状況で持たせるか考えます。以前、子どもが遊びに行っても遅くなくても帰ってこないことがありました。一緒に遊んでいた友達がキッズ携帯を持っていて、保護者の方からどこにいるのか連絡をいただくことができました。その時はキッズ携帯を持たせたいなと思いました。GPS機能は魅力的ですが、持たせる際には家庭でルール、決まり事を作らないといけないなと思います。

●学校教育部長

持たせるにあたってのルールづくり、約束事を決めることが大事です。方針を決めて持たせないという、しっかりとした考えを持つことも素晴らしいことだと思います。「皆が持っているから」は、機器を持たせる主体的な理由ではありません。

●小学校中学年の子どもがいます。本人も興味を示していないこともあり、必要性を感じていません。高学年のお子さんがある方の話では、中学校で友達と別れてしまうので、無料通話アプリで交流するという話がありました。また、中学生になると持たせる方もいるようです。まだ漠然

としていて、いつ持たせるかは分かりません。

●学校教育部長

民間の調査では、高校生でスマートフォンを持つことが多いようです。ただ、感覚的には中学生から持ち始めることが多いと感じています。部活の連絡や、友達が離れて必要になるなど。その手段として、本当にスマートフォンが必要かどうかは、各家庭で話し合い決めていただきたいと思います。

●小学校中学年、高学年、中学生の子どもがいます。中学の子だけスマートフォンを持っています。共働きのため、小学校1年生で児童クラブに入れたのですが、子どもが嫌がったので、キッズ携帯を持たせました。その後、携帯電話を持たせ、中学でスマートフォンが欲しいと言われました。周りの子は中学1年生でほとんど持っていました。部活は連絡網で連絡が来ます。無料通話アプリではありません。でも、子どもたちは無料通話アプリが楽しみです。一人で遠出させることがあり、つい最近スマートフォンを与えました。無料通話アプリをやっていますが、メッセージの音が鳴りっぱなしです。夜遅くまでは使わせないようにしているので、朝起きるとまずは無料通話アプリのチェックを始めます。機器を持っている時間が長いと思います。

●こども未来部長

機器を持たせた家庭の中では、夜何時まで、と時間を決めて親に預けさせるなどしているようです。部屋には持って行ってしまいますか。

●リビングだけの使用、夜は持たせない、サイトの閲覧制限、親がパスワードを決める、などしています。また、無料通話アプリで友達に送るメッセージに気を付けるように注意をしています。下の子は児童クラブに入ってくれたので、古い携帯でゲームをする程度です。与えるとすぐ使いこなせる状態にあります。

●学校教育部長

長時間の利用として、依存まではいなくても、それに時間を縛られてしまうことがあります。クラスメイトとの無料通話アプリも、メッセージに返信しないと、「何で返してくれないの」といったやり取りがあるなど。朝見ると、ものすごい量のメッセージが来ていたという話も聞きます。約束として、部屋に持ち込ませないためにリビングの使用に限ることは良いと思います。やり取りなど内容は確認されますか。

●内容は見ません。ただ暗証番号は親が入力しないといけないようにしています。

●学校教育部長

パスワードなどの制限の掛け方は大事で、子どもたちでロックを外してしまうこともあるようです。きちんと機器を管理されていること、約束事など参考になります。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。まだスマートフォンなどは持っていません。周りの友達も持っていないと思います。個人的には、何か熱中するものがあれば機器も必要ないのではと考えていましたが、連絡手段に必要ということで、自分が思っていることとは違うのだと感じました。何ヶ月か前、子どもにスマートフォンが欲しいと言われました。連絡で必要というよりも、ゲームがしたかったようです。親がいるときにタブレット端末で動画を見る機会があり、機器は身近です。気を付けようと思ったこととして、自分自身が寝転んで機器を使っていることがあり、子どもはその姿を見えています。子どもの前ではあまりスマートフォンをいじらないように心掛けています。親の自覚も必要だと感じました。

●学校教育部長

昔は気軽に家庭で情報機器を使うという文化がありませんでした。今では大人がどう使っているのか、子どもは大人の姿の鏡となります。食事の時間に機器を扱っている姿を見せていれば、子どもたちはそれで良いと思ってしまいます。子どもたちの依存は問題だと言われていますが、私たちも日常で使っています。便利ではありますが、子どもにスマートフォンが必要なのか。子どもの時期にできることが、機器に時間を取られてしまいます。最近では、小さい子どもに動画を見せている姿を見かけます。ボタン操作ができなくても音声で検索できますし、機器に簡単に触れられる時代となっています。

●3人子どもがいます。携帯電話は持たせていません。高校生でアルバイトをして稼げるようになったら自分で機器を買うように話しています。住んでいるマンションの子は小学1年生でも機器を持っています。通っている小学校の友達も持っています。小学校で放課後子ども教室が実施されていて、地域の方がいろいろなことをしてくれます。帰りは17時30分ごろで、連絡の必要もなくそこで遊べるので、機器はいらないと思っています。ただ、夏の暑い日、子どもの気分が悪くなって帰って来ることがありました。その話は友達の保護者の方から連絡が来ましたが、その時は子どもに携帯を持たせていれば良かったなと思いました。また、子どもが父親と一緒にゲームをしていて、コミュニケーションのツールとなっています。

●学校教育部長

持っていない理由として、熱中できるものがあることや地域の見守りがあるため、という話がありました。皆がスマートフォンを持っている、という感覚がありますが、本当に皆が持っているのか、持っていないと困るのかと感じました。

●中学校1年生の姪は持っています。

●学校教育部長

中学校の部活は電話で情報が回せますし、友達とは毎日学校で話すことができます。ただ、子どもたちが「部活の連絡でスマートフォンが必要」と言っていることは事実です。小学校段階では、スマートフォンを持たなくても困らないとは感じますが、通話機能のみのキッズ携帯、インターネットの機能がついている機器、ゲーム機能がついている機器、様々な機器がありますので、どれが子どもに必要なのか、各家庭で見極めていただきたいと思います。コミュニケーションツールとして親子でゲームをすることは楽しいことだと思います。

●学年委員25人中4人はキッズ携帯を持っていました。持たせる際には厳しくルール決め、契約書を交わした御家庭もあるようです。今のところ、持たせて困っている等の話はありませんが、今後はどうしようという話がありました。我が家は小学校中学年、年少の子がいます。共働きになり上の子に夫の古いスマートフォンを持たせましたが、本人は全く興味がありません。私がメッセージを送信しても見ません。連絡手段として、今は便利なものと考えていますが、今後周りが持ち始めた場合、使い方で自分が被害者にも加害者にもなるので、気をつけないといけないと考えています。

●学校教育部長

いずれ子どもたちが機器を欲しいと言ってきたとき、どのように持たせるのか悩み所だと思います。契約書という話がありましたが、本日配布している資料「ケータイ・スマホとのかかわり方」に誓約書がついています。持たせる際、最初の約束が大事になります。このような約束をしたらどうか、という参考にしていただければと思います。

●小学校中学年の子どもがいます。まだ機器を欲しいとは言われていません。クラスの子も持つ

ていません。ただ、古い携帯を家のWi-Fi環境がある所で、ゲームだけに使わせています。決まり事として、欲しいゲームがあると、今あるゲームを消すことにしています。また、自分でタイマーを押すようにさせていますが、時間を守りません。食事の時間にもやることがあるので、ケンカになります。スマートフォンを持たせる時期は、高校生くらいだと考えています。自分でアルバイトをしてお金が稼げるようになったら。ただ、周りのお子さんの状況では、持たせることも考えないといけないと思います。他の方から聞いた感じでは、男の子よりも女の子の方がスマートフォンを持ちたがるのではないのでしょうか。スマートフォンを持っていないお子さんのお母さんが、持っている子と連絡を取り合うこともあるようです。他のお母さんにオープンに話せる内容なら良いのではと思います。

●学校教育部長

今はゲームの時間を守るよう約束をされているとのことで、いずれスマートフォンを持つときにもそういった約束が大事になってくると思います。周りが機器を持っていても、親が連絡をとれるようにするなど、家庭の方針を決めて子どもと話し合っていたきたいと思います。

本日はスマートフォンを持たせていない御家庭が多く、ある意味安心しました。便利な物で、大人もなくては困るものではありませんが、トラブル、危険は想像しているよりもあります。無料通話アプリ内でのいじめ、知らない大人とつながり犯罪に巻き込まれるケース。動画投稿サイトで顔を出してしまったり、友達と一緒に写っている写真をSNSで公開してしまい、知らないうちに個人情報が知られてしまうなど。学校では子どもたちに対して、スマートフォンの安全教室を実施しています。保護者の方も参加できるようになっていますので、機会があれば一緒に話を聞いていただければと思います。大人も理解した上で、どうやってスマートフォンと関わっていくのか、子どもに示してあげながら、危険から守ってあげられるように働きかけていただきたいと思います。

●市長

しっかりとした考えの話を聞かせていただきました。自治会の方々は皆さんと一緒に活動したいと思っています。スマートフォンの話にも共通しますが、想定外の何かが起きたとき、助けてくれるのは地域の方です。人のつながりで社会が構成されていますので、そういったことを頭の隅に入れておいていただきたいと思います。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(5)小学校

日時 10 月 22 日 (月) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 2

テーマ 1 「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こういったことを背景に、平成 24 年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

また、今年 6 月から、地域の方が学校の運営に関わっていただくコミュニティスクールを全小中学校で導入しました。運営協議会 10～20 人を中心に、より多くの方に、学校、子どもの授業の支援に関わっていただきたいと考えています。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聴きしたいと考えています。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。子ども会、自治会に入っています。子どもが楽しめればと思い参加させるようにしています。子ども会で役員をやりましたが、次期役員がいなく、人数が少なくなってしまいました。自治会の行事は参加してみれば楽しいのですが、人を集めることが大変です。PTAの役員も、仕事をしているからできないという理由があるようですが、各家庭によって仕事の状況も違うのではないかと思います。仕事をしながらでも役員をやって良いという方もいます。役員は大変でしょと言われるのですが、私はそんなに大変とは感じません。たし、大変ではないとどのように伝えればよいのか難しいです。昨年、夏休みだけ児童クラブに預けましたが、今年はいれませんでした。他の学校に預けることができますが金額が高くなります。できれば、通っている学校に入れるようにしてほしいです。

●こども未来部長

お子さんは、他の学校に行くことを嫌がりますか。

●私の子どもは大丈夫ですが、やはり他の学校に行くのはどうかと。私はできれば自分の学校に預けたいです。

●こども未来部長

子どもは他の子ともすぐに仲良くなることができます。他の学校の子どもや年齢の違う子と交流することも良い経験になると思います。

●教育総務部長

小規模校になると役員決めが大変になると思います。参加してみれば楽しいこともありますので、委員会の中などで、良さを広めていっていただきたいです。

●小学校高学年、低学年の子どもがいます。子ども会や地域のドッチボールクラブに入っています。地域の行事にも参加するようにしています。ただ、子ども会はどのような活動をしているのか分かりません。子ども会の加入者は少ないです。仲の良い子が参加していなくて、最初は乗り気ではないのですが、参加してみると楽しいようです。役員はやらなくてはならないことが多いため大変だという話を聞きます。夏祭りのおみこしなど、今年は猛暑でとても大変でした。

●市長

子ども会のメンバーのみでおみこしを担ぐのですか。

●基本的にはそうですが、子ども会でなくても参加できます。来年入ってくる1年生の人数が少なく、1クラスになってしまいます。PTAの役員の数も、減らすのかという状況です。

●教育総務部長

子ども会は役員を引き受けてくれる方はいますか。

●なり手がいないので、前にやってくれた方が引き受けてくれます。役員をやらないといけないと、学年上がるにつれて、やめてしまいます。

●市長

子ども会で会費を集めていますか。

●集めています。そんなに高くない金額です。

●こども未来部長

子ども会に関しては、前年度と同じ行事を行うことが難しい場合、内容を変更したり、縮小の検討も必要かと思います。親が楽しいことでないと続かないことですので、何かの作業をやめることも考えていただきたいと思います。また、補助金の申請などマニュアル化をしていますので御活用ください。

●小学校低学年の子どもがいます。市の施策のお世話になっており、子育て環境が日本で6位になることが良く分かります。公園が近くになく、あまり家の近くで遊ぶことがありません。私が小さい頃はもっと人がいたと思うのですが、コンビニエンスストアに行くまでの間など、近所の人と会うことがないです。子ども会に入っていないです。

●こども未来部長

児童クラブの催し物に参加されることはありますか。

●年2回、児童クラブで保護者主催のゲーム大会があるらしいのですが、参加したことはありません。あまり関わりたくなく、面倒くさいため避けています。防犯の面などで考えると、地域の方とふれあって、あいさつをすることなどは大事ななとは思っています。

●こども未来部長

仕事をしている間に、子どもに何かあった場合心配になってしまいますよね。

●ボランティアの人が登下校の見守りをしてくれていて、すごく助かるなと思います。

●教育総務部長

あいさつをするだけでも、地域の方に顔を覚えてもらえます。生活状況は人によって様々ですので、その中で地域の方と関わりを持っていただければと思います。

●PTAについては、委員会や行事内容など、変えることを提案しますが難しいです。

●教育総務部長

皆で話し合うことは大事だと思いますが、難しいですかね。

●教育長

役員の委員会のことなど、各小中学校PTA会長が集まる会議がありますので、そこで話が出てくれば良いのかもしれませんが。

●社会教育部長

市PTA連絡協議会で話題にしてみたいと思います。各学校PTAからも話を出してもらえればと思います。

●こども未来部長

「夕焼け小焼け」のチャイムの時間なども、PTAなどでアンケートを実施し、皆さんの総意で変えることができました。

●社会教育部長

変えたいと思っているけれども、自分の代では変えたくないと思っているのかもしれませんが。

●教育総務部長

アンケートなど市でもできることを考えていきたいと思います。

●小学校高学年、幼稚園の子どもがいます。厚木市に引っ越してきました。夫の両親と住んでいて、地域の方は会えばあいさつをしてくれます。登下校時はお母さん方や民生委員の方も集まって、井戸端会議をしています。子ども会に入っていて、自治会の行事にも参加しています。自治会長が子ども会の会長も兼任してがんばってくれています。子ども会のことも自治会のことも相談ができる、頼りになる方です。楽しく参加していて、子ども会が無くなる様子はありません。役員決めは「誰が何回している」ということを把握しているので、次は誰がやるのかすぐに決まります。今は、小学校の高学年が少なく、来年少学年が増えます。役員が3人ですが、負担が減るように、1人増やそうと考えています。子ども会はハロウィンをメインでやっています。地域の人たちに回覧板を回して、お菓子を配ってくれる方を募集します。高齢の方も多いので行事を楽しみにしてくれています。子どもたちも大喜びで、大満足の行事です。

●教育総務部長

見守りの時間で地域の方が出てきてくれて、皆で話ができるのは良いですね。

●小学校高学年、中学年の子どもがいます。子ども会に入っていますが、ミニバスケットをしていて、忙しいため行事には参加できていません。駅から離れている地域ということもあり、地域の皆で子どもたちを見ていこうという仲間意識が強く、行事も多いです。PTA活動は次期役員を探すのが大変です。子どもが来年中学校に上がります。生徒数が少なく、サッカー部がなくなることが決まりました。クラブチームの募集の締め切りも間近かで、問題になっています。

●小学校中学年、低学年、幼稚園、来年にもう一人生まれます。海外にいましたが、昨年地元に戻ってきました。幼稚園や小学校など、海外と日本とシステムの違いを感じます。良いところもあって感謝しています。子ども会が廃止になって、学校の登校班もなくなりました。1年生の下校班はありますが、秋までです。委員会でアンケートをしたところ、登校班の復活を希望する声が一番多かったです。地元の方なら知り合いもいますが、外から引っ越してきた場合、誰がどこに住んでいるのか分からず不安を抱えている方がいます。地域の方に子どもの顔を覚えてもらえるように、なるべく外に出てあいさつをするように言っています。反面、登校班は、お子さんが時間を守れない場合、それがストレスに感じるお母さんもいます。集めるのが難しいのですが、見守り隊の方がいるので、すごく心強いです。PTAは週2回持ち回りで見守りを実施します。本当は毎日できれば良いのですが、シルバーの方々も協力していただけるので励みになります。

●教育総務部長

昨年転入してこられて、すぐに地域と打ち解けましたか。

●母校のことを知りたいと思っていましたし、役員を務めたこともあり打ち解けました。

●小学校中学年、低学年の子どもがいます。こちらの学校は全学年、1クラスです。自治会活動は、やって当たり前の地区です。子ども会も交通安全母の会の活動も、何年も先まで決まっています。そこにPTAの活動を組み込んでいきます。どの年に何をやるのか自分で考えて決められることもあり、あまり苦にはなりません。幼稚園でも役員を務めていたので、引き続き何かしらやっている状態です。PTA役員の選出時期ですが、事前に誰が何をやるのか決まっているような感じです。会長は後任を探すのが大変です。子ども会は、親がやっている姿を見ているので、加入するのが当たり前と感じています。土地柄、地域の活動に参加してもらわないと子どもが困るので、夫にも地域の運動会などに参加するように言っています。地域の関わりとしては、まず子どもに夫とおじいちゃんの名前を覚えさせました。通学路にトイレがないので、途中で親戚や知り合いがいたら、「〇〇の孫です」と言ってトイレが借りられるように教えました。登校班がありますが、帰りが心配です。しあわせクラブの方がセーフティベストを着て通学路に立っています。学校行事にも参加してくれています。おじいちゃんから赤ちゃんまで地域のことに参加しています。ただ、子どもは少なくなっているのに、役員の負担は減りません。役員をやりたいくないために、子ども会をやめる人も増えてきています。遊びに行ける公園が少ないです。児童館に行きますが、ルールが厳しいです。放課後子どもたちが遊べるところがありません。近くの神社は不審者が多いです。

●教育総務部長

遊べるところが多いと思っていたのですが。

●開放的ではないところが多いです。

●市長

あまりオープンな場所ではないですかね。

●隣の地区に行く途中に小さい公園がありますがいつも草が茂っています。皆さんのお子さんは学校で放課後遊ばれますか。

●放課後は児童クラブの子が遊んでいて、入りません。

●自転車に乗れるようになれば、行動範囲も広がると思うのですが。

●市長室長

学校から帰ってきてからの行動範囲、連絡方法なども含めて2つ目のテーマに進みたいと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、キッズ携帯などの情報機器を、子どもにどのように持たせていくべきか情報交換をしたいと思います。大人もだいたい皆さんが持っていて、スマートフォンなしでは生活できないような世の中で、子どもたちもやがて手にするものですが、中学校でトラブルが多く危険もたくさんあります。子ども同士で悪口を書き込まれたり、それが元に大きな問題になることもあります。中学校になると持たせようと考えている方が多いようです。部活の連絡で必要だと、

子どもたちは言うようです。皆さんはスマートフォンデビューをいつ頃と考えられていますか。また、持たせるにあたってはどんなことに気を付けて持たせるのかお伺いしたいと思います。

本日の参加者の方で、すでにお子さんに機器を持たせていられる方はいますか。

●海外に赴任しており日本に帰って来た際、店舗の方に「今の子はみんな持っている」と言われ、持たせました。「今から機器に慣らす方が良い」とも言われました。が、実際はほとんどの友達は持っていない状況でした。私は仕事をしていないのですが、遊びに行くときに持たせています。遊びに行く所は近くの公園と言っていますが、GPS機能付きの機種で安心できますし、困った時には電話もできるので便利だと思っています。子ども2人ともゲームはしません。他の方からは、通信機器でゲームの辞め時が分からない、という話も聞きます。写真を撮ることも興味が無いようです。

●スマートフォンを持つきっかけとして、「皆持っているから」と子どもに言われるようです。ただ、前回の意見交換会ではどなたも持っていませんでした。中学校でもトラブルが多いですが、全員が持っているわけではないです。どのような理由で、どの機器を持たせるのか、家庭で話し合っていたかと思っています。GPS機能が付いているキッズ携帯を持たせている方もいます。通話やメール先が制限できるものですが、いずれ子ども同士で連絡したくなる時が来ます。今機器を持たせていない方は、いつ頃に持たせようと考えられていますか。

●習い事などを始めたらと考えています。今は、遠くの公園に行く際、子どものカバンの中に、古くなった私の携帯電話を入れます。家ではタブレットでゲームをしているので、携帯電話には執着はありません。

●学校教育部長

携帯のGPS機能は良いのですが、危険性を子どもに正しく教えることが大事です。小学校で携帯電話の安全教室を開催していることを御存知ですか。

●小・中学校で使い方教室を開催されていることを聞いています。学校での知識と保護者との情報共有がされていないと、対応の違いなどで、もめ事になってしまうのではと思うことがあります。横のつながりで情報共有する場があれば良いなと思います。

●学校教育部長

大人も知ることが大事になります。機器の危険性をPTAなどで学ぶことはありましたか。

●授業参観など、学校で開催された教室に参加しました。

●社会教育部長

本日配布している資料「ケータイ・スマホの関わり方」で、子どもとの約束について項目をまとめています。

●機器の使い方で統一した決まりがないので、PTAで決まりを作りましたが浸透しませんでした。無料通話アプリの講習会をPTAで開催しようと計画しています。学校で決まりを作ってほしいです。

●学校教育部長

PTAでもぜひそういった機会を作っていただきたいです。機器を子どもに持たせる際、資料を参考に家庭で約束事を決めていただければと思います。子どもに機器を持たせると、操作方法など詳しくなっていきます。大人が理解していないと注意をすることも難しくなってくると思います。青少年健全育成会でも講習会を開催していますので御参加ください。

●市長

皆さんから様々な御意見を伺うことができ、勉強になりました。ありがとうございました。自治会や子ども会などの活動は地域によって違いますし、スマートフォンの持たせ方なども人によって考えが違うこともあるかと思います。お互いの情報が入ることが、本日の意見交換会のメリットだと思います。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(6)小学校

日時 10 月 24 日 (水) 午前 10 時から正午まで

場所 依知南公民館集会室

テーマ1「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こういったことを背景に、平成 24 年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

また、今年 6 月から、地域の方が学校の運営に関わっていただくコミュニティスクールを全小中学校で導入しました。運営協議会を中心に、より多くの方に、学校、子どもの授業の支援に関わっていただきたいと考えています。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聴きしたいと考えています。

●小学校低学年、年中の子がいます。子ども会に入って 2 年目です。自治会にも入っています。子どもの顔を周りの人たちに覚えてもらい、何かあったら地域の方から情報をいただきたいですし、私の顔も覚えてもらって交流をしていきたいと思ったので自治会に入りました。引っ越したきっかけで、自治会に入ろうと決めていました。子ども会のイベントにも楽しく参加しています。

●教育総務部長

地域の方々に顔を覚えてもらいたいと、明確に考えていられたのですね。

●何かあったときに地域の方々の協力も必要だと感じたので。皆さんあいさつをしてくれますし、いろいろと話もしてくれます。子どもの顔も覚えてくださって、自治会に入って良かったなと感じています。

●市長室長

過去の意見交換会では、自治会の方から勧誘をされた、という話が多かったのですが、自ら探して加入されたという話は初めてですね。

●小学校低学年、幼稚園の子がいます。自治会に入っていないです。昨年、マンションに引っ越してきました。周りで自治会に入っている方はほとんどいません。せめて子ども会に入ろうかと考えていましたが、廃止になったそうです。マンションの管理人に自治会の入り方を調べてもらっている状態です。ただ、マンションなので自治会に入る必要はないと言われています。昔からあるマンションで、高齢者の方が多く、役員の順番が早く回ってくるそうです。子どもは地域の運動会など参加したいと言っています。自治会の入り方が分かりません。

●教育総務部長

基本的には自治会長に連絡を取るような形になります。住んでいられる地域はお子さんが多い所だと思ったのですが、子ども会が廃止になったのですか。

●子どもが多い地域なので、大人数をまとめることが難しく、子ども会をやるのなら小学生の保護者がやるようにとされているようです。ただ、保護者の方も役員をやりたい人が少ないので廃止になったようです。

●こども未来部長

他の地域の子ども会に参加することもできますので、御検討ください。

●小学校低学年、幼稚園の子がいます。子ども会はありません。引っ越してきて、周りの方と全く関わりがなかったため、何かあった際に困るなど感じ、自治会に入りました。地域で様々な行事が開催されるので、楽しく参加しています。また、子どもたちの顔も地域の方に知っていただけるのですごく良いなと感じています。

●こども未来部長

地域で防災訓練などにも参加されましたか。

●夫が参加しました。夫の地元なので、参加して楽しかったようです。

●中学校、小学校中学年の子がいます。自治会、子ども会に入るのが当たり前と思っていました。引っ越してきて、近所の方に自治会の加入方法を教えてもらいました。子ども会も入るものと考えていたのですが、参加している方は少なかったです。子ども会に女の子は集まるのですが、男の子には向かないのか、息子はやめてしまいました。自治会の行事で防災訓練など、参加したいと思っているのですが、若い方が少なく出づらいつ囲気です。役員になりましたが、参加したことはありません。

●こども未来部長

地域の方にも顔を覚えてもらえますし、参加賞などいろいろともらえることがありますよ。

●小学校高学年、低学年、年長の子がいます。10年くらい前から自治会に入っています。自治会行事には若い人の参加が少なく、子どもが楽しめない内容になっています。私が子どもの頃は参加して楽しかった思い出がありますが、今は運動会の参加賞が料理用の袋数枚、出されるお弁当は小さく、持ち出しの方が多いです。終わった後の打ち上げは、一部の方が楽しんでいるのかなと思いました。小学生以下はお弁当が出ません。

●こども未来部長

前の意見交換会では、参加賞などいろいろと貰えて楽しいという話が出ていました。ほかではこうですと、提案をしてみてはどうでしょうか。

●市長室長

子どもは楽しいと思わないと参加しないですよ。

●社会教育部長

今年の地域の運動会は、子どもの参加が多いと感じていたのですが。

●市長

子どもたちが出るプログラムはなかったですか。

●鈴割り、パン食い競争、それ以外は出ても特に何もありません。

●中学校、小学校高学年、中学年の子がいます。地域の運動会で出てくるお弁当は、大人も子どもも同じものです。子ども対象のリレーに出ると、子どもたちに参加賞を出してくれます。慰労会は、子ども用の料理やジュースが用意されます。とても手厚くしてくれています。地区によっ

て違うなと思いました。私の自治会だけかもしれません。子ども会加入で会費を支払いますが、元は取れていると感じています。地域の方たちが関わってくれて、感謝しています。見守りボランティア、愛の目運動など、地域の高齢者の方と一緒に参加しています。高齢者の方は、「見守りはやるから、あなたたちは仕事を頑張れよ」と言ってくれます。すごくありがたいです。

●教育総務部長

自治会は、御自身から加入されたのですか。

●自分から加入しました。新しい家が多かったので、入りやすかったです。

●社会教育部長

近所の方も自治会に加入されていますか。

●皆さん加入されています。運動会にもみんなで参加しました。

●小学校高学年、中学年の子どもがいます。自治会に入っていますが、子ども会はありません。仕事をされている方は役員が回ってくると辞めてしまう方が多いです。また、習い事を優先される方が多いので、子ども会は無くなったようです。二つの地域が一つになった住宅密集地で、高齢者の方が多いです。

●こども未来部長

小学校の高学年になると習い事、塾に通っている子が多くなりますよね。

●社会教育部長

回覧板や広報紙の配布など、役員は大変になってしまいますかね。

●地区長になると現金の管理など、人が多いので回収する金額も多く、負担がかかります。

●市長室長

皆さんはPTAの役員を引き受けていただいている方なので、比較的、地域の役員も引き受けることができる、やっていこうと思われる方なのだと思います。

●こども未来部長

私も、交通安全母の会、PTA、子ども会をやってきました。前年と同じ事をしようとする大変なことがあります。一步踏み出して、取組を工夫したり、変えていく必要があると思います。本日意見交換をした情報を「他の地区はこうだったよ」と、持ち帰って皆さんに伝えていただきたいと思います。私たちが子どもの頃に参加していて楽しかったことを、今度は自分の子どもに返していく番だと思い、私も参加してきました。ただ、できることと、難しいことがありますので、楽しく続けていただきたいと思います。

●教育長

今回参加されている小学校の地域は、学校のことも地域の方が協力してくれるという印象があります。夏祭りや田んぼの稲刈り、餅つきなど。大人も子どもも一緒になって参加してくれています。ただ、取組の内容はずいぶん違うと感じましたので、今日お話しいただいた他校の方の御意見を、PTAなどの中でも情報交換していただければと思います。

テーマ2「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。つい最近も報道されていましたが、中学生で

は、インターネット依存症が話題になっており、機器が手放せなくなってしまうそうです。また、昼も夜もゲームに夢中になってしまう。通信ゲームで相手がいるのでやめられなくなってしまう。簡単に達成感が味わえることで依存症になってしまいます。スマートフォンはSNS、無料通話アプリのトラブルが多いです。悪口を書かれる、仲間外れにあうなど。メッセージの既読のやり取りや朝起きるとメッセージがたくさん来ていたという話もよく聞きます。保育園・幼稚園といった小さい頃から、動画を視聴されているようで、子どもが自分で見たい動画を検索できるそうです。昔に比べて、小さい頃から機器に触れている機会が多いのだと感じました。大人もゲームに夢中になってしまうことがあります。それを子どもは見ています。今の時代、機器は無くてもならない物となっていますが、子どもが使う場合、どうやって危険から守るのか。皆さんの御家庭では、ゲームをしていたり、動画を視聴されていますか。お子さんの様子をお伺いできればと思います。また、機器を持つ時期が早くなっているように感じます。昔、高校デビューと言われていましたが、中学生あるいは小学生で持ち始める話を聞きます。子どもは「皆持っている」と言うことがあります。もちろん持っていない子もたくさんいます。小学生でキッズ携帯を持たせている場合、いずれはスマートフォンデビューとなります。スマートフォンをいつから持たせるのか、持たせた際、トラブルからどう子どもを守るのか御意見をお伺いしたいです。すでに持たせていられる方は、機器を持たせたきっかけ、持たせたことによる悩み事、約束事、工夫などをお聴きしたいです。

●スマートフォンは持っていません。学校でも話し合いがあり、小学5・6年生になると3分の2が持っているようです。クラスで無料通話アプリのグループを作っていて、メッセージのやり取りが多く、仲間外れなどの問題もあるようです。どう対応するべきか、親が買い与えている物なので、親がしっかりと管理することが大事だと思います。塾に通う子が持っていることが多く、通話だけとか、夜何時まで、といった約束をする必要があると思います。知り合いの方で、子どもがスマートフォンのゲームで遊んでいて、知らずに万単位で課金されていることがあったという話を聞きました。持たせていない人、持たせた人、両方の意見を聞いていますが、私自身管理ができるか心配で、子どもに持たせるなら、中学校の後半くらいになると考えています。

●学校教育部長

子どもから「周りが持っているからと持ちたい」と言われることがあると思います。無料通話アプリは複数人を巻き込みながら、メッセージを返さなくてはならないと、苦しくなっていくます。親が与えたものは、親が管理することはとても大事になると思います。課金の問題もあります。初めは無料でも、次に進めたり、アイテムを手に入れるために有料になることがあります。知識を持ってやっていけば良いのですが、初めてだと分からずに課金をしてしまうことがあります。

●小学生の子どもは二人で一台、塾の際に持たせています。ゲームなどは入れていません。今のところ、渡したことによるデメリットはありません。中学生の子は部活が忙しく、機器に触る時間もないせいか、あまり使っていないようです。無料通話アプリなど内容は親がチェックすることと、夜9時以降は使わないように約束していますが、塾が終わるとすでに夜9時を過ぎていきます。放課後、首から機器をぶら下げて遊んでいる子がいます。皆、機器の重要度が分かっていないようで、ジャグリズムなどをやっています。盗まれたりすると大変だよと話してはいるのですが。ゲーム機と同じ感覚で持っている子が多いです。

●学校教育部長

中学生で機器を持たせている場合、親が内容を確認できるかどうかは大事です。使用状況をチェックできることは良いと思います。中学生の無料通話アプリは、親が内容を確認していないため、送ったメッセージで相手を傷つけることがあり、トラブルが生じます。

●消されたメッセージもあるようで、何があったのか気になることがあります。

●学校教育部長

部活が忙しく使う時間もないようですが、確認することを前提に持たせていることは良いと思います。

●そうですね。与えたときにそうしていたので。見られていることを周りには言えていないかもしれません。

●学校教育部長

誰かが見ていただけるだけでも違います。塾の帰りなど場所が分かりますし、通話もできて、子どもたちを守るために便利な機器ではあります。インターネットやゲームの使用制限をしたり、使い方の約束が上手にできると良いと思います。

●家に固定電話がなく、家で1台スマートフォン、タブレットを使っています。小さい頃から機器に触れさせていて、2台くらい壊されたことがあります。今、スマートフォンを持たせていて、小学校中学年でクラスの10人くらいは持っています。無料通話アプリのお誘いも来ていますが、抜けさせました。また、ご飯、宿題を終わらせて、利用は夜7時までと約束しています。これからは機器を持たずにはいられない時代になると思います。学校でもタブレットで勉強をしているくらいなので。親が怒って、怖さで今以上にできないようにしているのですが、これからは、どうしたらいいのか分かりません。教えてほしいです。

●社会教育部長

資料として「ケータイ、スマホとのかかわり方」を御用意しました。PTAで作ったものですので、是非参考にしてください。

●こども未来部長

学校でも機器の使い方の教室を開催していることは御存知ですか。学校ではあまり怖い話はしていませんが、中古ショップでは契約書なしで、お小遣い程度の金額で買える機種があります。Wi-Fi でいつでもインターネットにつながる環境があるのに制限をかけていない場合、成人向けの動画を見てしまうことがあります。国立久里浜医療センターではネット依存の患者が増えており、中学生も入院しているそうです。依存している子は通常と脳波が違い、症状は麻薬と同じだと言われています。青少年健全育成大会でWebカウンセリングセンターの講師をお呼びし、講演会を開催します。是非話を聞いていただきたいと思います。

●社会教育部長

PTAの家庭教育学級で、講師を呼んで講習会をやっていただくことも良いと思います。

●学校教育部長

機器は便利で、大人でも持たずにはいられません。子どももいずれ機器を持つことになります。何が危険なのか、親がまず知らないといけません。無料通話アプリは相手がいるものですので、PTAなどで話題にいただき、お互いに情報を共有できると良いと思います。

●中学生の上の子は、小学6年生からスマートフォンを持たせています。6年生で周りの子が持っていたので、持たせました。下の子も友達が何人か持っているので、欲しいと言われましたが

6年生になるまではと考えています。タブレットで動画を視聴しています。我が家は夜9時消灯です。夜9時までにご飯、宿題を終わらせて、その合間にスマートフォンをやる分には良いと言っています。時間までに宿題が終わらなかったら、次の日は使わないように言っています。

●こども未来部長

部屋に持ちこんでも良いことにしていますか。

●リビングだけの使用にしています。中学生の子はこっそり持って行っているようです。無料通話アプリは入っていますが、くだらないやり取りが多く、グループから抜けられたようです。知らない人とのやり取りをすることがあるようで、テレビで報道されている事件などを教えて、こういうことは信用してはだめだよと、話しています。

●学校教育部長

知らない人とつながることもインターネットの怖さの一つです。普通関わらないと考えていても、動画投稿、写真公開のコメントでつながることがあります。危険とを感じる前に、そういった仕組み、怖さを教えていきたいです。知らないうちに犯罪に巻き込まれていることもあります。中学生のお子さんが小学校6年生でスマートフォンを持たせた際、何か約束はしましたか。

●約束として、宿題はやる、リビングのみの使用、パスワードは親が決める、としています。

●学校教育部長

親が買い与えるものなので、親が管理することは良いと思います。パスワードは親が管理、リビングでも親の目の届くところで使用させることは良いと思います。

●まだ持っていないのですが、子どもが「皆、6年生になると持っているよ。いつ買ってくれるの」と聞いてくるので、どうしようか悩んでいました。私のスマートフォンでゲームをしたり、家族だけで無料通話アプリをすることは良いとしていますが、やりたがります。幼稚園の子はゲームをやりたがるので、何かのご褒美として与えています。

●学校教育部長

小さい頃から機器に馴染んでいることもあり、タブレット授業も覚えが早いです。小さい子がゲームを上手に操作しているところを見ます。今は動画を声で検索できますし、親がいなくても一人で動画視聴をすることができます。子どもが言う「みんなが持っている」は実際のところは分かりません。

●キッズ携帯は持っています。スマートフォンは周りがどのくらいで持たせるのか知りたいところです。防犯ブザーがランドセルに付いていて外すのが難しいので、遊びに行くときはキッズ携帯を防犯ブザーの代わりとして持たせています。家では私のスマートフォン使わせています。知らないうちに使いこなせています。

●学校教育部長

子どもたちのスマートフォンの操作スキルはすごいです。小さい頃から馴染んでいるからかと思いますが、パスワードを解除してしまうこともあり、心配になることがあります。登下校は防犯ブザーを持たせ、大人の目、地域の目で見守りをしていただけます。それ以外では、キッズ携帯を持たせることで、どこにいるか分かりますし、連絡もできます。子どもを守るために、そういった機器は必要な物だとも思います。

●スマートフォンは持たせていません。私がゲームをやっていると、子どもたちが後ろからじっと見ています。料理していて煮込んでいる間など、機器をいじっていると後ろで見えています。子どもに機器を持たせたら依存してしまうのではと思いつつ、私自身、高校生の時に勝手に携帯電話

話を契約した経過があるので、持たせるのは中学生くらいかなと思っています。まずはキッズ携帯かなと考えていますが、いずれいらなくなるものなので、古くなった機器を子どもに持たせるか。いつ何を持たせるのかは話し合っているところです。

●学校教育部長

キッズ携帯から、親のいらなくなった機器を子どもに持たせる話はよく聞きます。大人でもゲームは楽しいですし、子どもだけ我慢しなさいと言うことは難しいかと思います。最初の持たせ方、ルール作りが大切になります。機器は便利な物であります、子どもたちに機器を持たせる場合、依存であったり、様々なトラブルや危険と隣り合わせであることを知る必要があります。大人がどういう危険があるのかを十分知って、子どもに与えるときに教えることが必要だと思います。

●教育長

機器の扱いについて、大人はメリットとデメリットを知っているようで、詳しくは知りません。小学校では携帯電話・スマートフォンの教室を始めています。学校だよりなどで教室の案内がありましたら、子どもと一緒に保護者も参加をして、勉強することも大事だと思います。

●こども未来部長

大人が楽しくゲームや無料通話アプリをしている様子を、子どもたちは見えています。機器の使い方など、皆さんが子どもに見本を示しています。連絡手段など便利な機器として使用することは良いと思いますが、大人がそれ以外の物として使用している姿を見て、子どもは欲しがるのではないのでしょうか。以前の意見交換会では、お子さんに公衆電話の使い方を教えているという保護者の方がいられました。キッズ携帯を持たせてはいるけれども、無くしてしまった場合の対策として、小銭と電話番号のメモを持たせているそうです。そういった見守り方もありますので参考にさせていただけたらと思います。

●市長

新しいお話を聞かせていただきました。大変参考になりました。家庭によって状況も違うので、スマートフォンの持たせ方に一つの答えはないと思いますが、家族の話し合いが鍵となります。我々が大人になって持ち始めた情報機器を、子どもたちは小さい頃から持ち始めようとしています。インターネットなど他者とつながり事件に巻き込まれることもあります。便利で楽しいだけでなく、危ないことがあることを認識して、子どもに持たせるか判断をしてください。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 30 年度 子育てコミュニティトーク(7)中学校

日時 10 月 26 日 (金) 午前 10 時から正午まで

場所 市民交流プラザミュージックルーム 2

テーマ1「子どもを守るための家庭での取組について」

●学校教育部長

スマートフォン、パソコン、ゲーム機でもインターネットにつながる仕組みがあり、子どもが触れることでトラブルにつながることもあります。中学生になると、スマートフォンを持ち始める子どもたちが多くなると思います。皆さんのお子さんにはスマートフォンを持たせていますか。前回の意見交換会では、中学校のクラスで3分の2が持っているという話がありました。中学生では、無料通話アプリのトラブルをよく聞きます。また、依存も話題になっており、ゲームに夢中になってしまい機器を手放せなくなることで、特別な例では、インターネットや動画投稿サイトを通して知らない人とつながり、犯罪に巻き込まれるという話も聞きます。実際に起きてしまったトラブル、どうやって子どもたちを守るのか、皆さんのお話をお聴きしたいと思います。スマートフォンを持たせている場合、持たせたきっかけ、約束事、困っていること。持たせていない場合、いつ持たせるか、気を付けようと考えていることなどもお伺いしたいです。

●中学生、小学校中学年の子がいます。どちらもスマートフォンは持っていません。上の子は通話だけできる携帯電話を、習い事の送迎のために持たせました。一人でいるのが平気な子なので、機器は習い事のカバンに入りっぱなしです。ゲームの通信の方が多いかと感じます。持たせる時期は高校からで良いと、本人も言っています。今は、コミュニケーションツールとして持ちたい子が多いようですが、うちの子はゲームで持ちたいようです。ただ、すごく欲しいというわけではないです。実際、中学校でスマートフォンを持っている子が多く、「持っていないのはたぶん自分だけだと思う」と言っていました。学校で機器を持たせる際の約束をしたか、という話し合いをしました。利用する時間を決める、夜9時または10時まで、自分の部屋には持ち込まない、リビングでの使用のみ、ゲームのインストールで有料のものは禁止、SNS投稿はしない、パスワードは親に教える、食事中は使用しない、などが多かったです。学校からも夜10時まで、と便りが来ましたが、ゲームと一緒に通信している友達を守っていないようです。学校で徹底して決められれば良いのではと思います。以前、市で機器の扱いの取り決めをしているところがあると知りましたが、市外の子とのやり取りで違いもあり、うまくいかないようです。

●学校教育部長

今はほとんどの大人がスマートフォンを持っている時代です。昔と比べ、機器の扱いのハードルが低くなっているように感じます。お話しいただきましたとおり、ゲーム機でも他の人とつながることができます。学校の友達だけでなく、知らない人とつながることができます。

●大学生の子が2人、中学生の子が1人います。上の子が大きいので、スマートフォンを持っていることが当たり前の環境です。中学校に入る時に制限を厳しく設定しているスマートフォンを持たせました。夜は9時30分まで、パスワードは親に教えるように約束をしていました。小学校では半分、中学校で3分の2以上の子が持っています。女の子は無料通話アプリがトラブルになりやすいです。既読したら必ず返信を、既読スルーの反応など、エスカレートしています。定期

テストそっちのけで、依存症になりつつある子がいます。部屋にこもって使っていて、何時間使っているのか分からないそうです。男の子は夜中にゲームをしていて学校に遅刻をするなど、ひどい状態まで陥っているお子さんもいました。先生にも話しましたが、先生がどうこうできる問題ではありません。機器の使用はあくまでも家庭内で決めることだと思います。親の意識改革をしないとイケません。学校にそれを委ねることはできないと思います。担任の先生は、依存症率が分かる利用状況 10 項目を生徒に配布したようです。目に見えるアンケート調査は必要で、親に還元しないとイケないと思います。PTAの広報紙など、お子さんが保護者に渡していないことがあります。部屋にも入れない、隔離した世界でスマートフォンを使わせることは危ないです。また、SNSなど、女の子と会話していると思って、会ったらおじさんだったことがあるそうです。インターネットのフィルターを掛けていると思いますが、それをかいくぐるものが増えていきます。しかし今は、PTA役員の連絡が無料通話アプリです。大人がやっているものを、子どもにダメとは言いうことは難しいです。大人の中でもトラブルがあるくらいなので、全世代で共有していかなければならないと思います。

●学校教育部長

現実問題として危険なことがあったり、機器にはまっている子がいるという実態が分かりました。ありがとうございます。

●無料通話アプリは対象への情報が早く回りますし、読まれたことを確認することができます。良い面もあります。大人も勉強しながら考えないとイケないと思います。

●子どもの方が操作方法など、使い方の理解が進んでいます。

●子どもに聞いて教えてもらうことがあります。子どもと同じ機種を大人が持っていないと、子どもの理解が早くて大人が付いていけなくなります。PTAで大人のスマートフォン教室をやるとういいます。

●学校教育部長

大人も連絡は無料通話アプリを使うことが多いと思います。既読スルーなどのトラブルはあります。夜何時までと約束していても、メッセージが来たら返さないといけない、やめることができない。朝起きるとすごい量のメッセージが来ていたと聞いたことがあります。大人がどうやって止めさせるのか。市で使用時間を決めるということもありますが、各家庭で状況は違うと思います。PTAで作った資料がありますので、参考にしてほしいと思います。

●社会教育部長

資料「ケータイ・スマホのかかわり方」で誓約書の見本を付けています。また、PTAで講習をすることも良いと思います。家庭でのルール作りが大切になります。

●親同士のルール作りも大切になると思います。夜遅くまでスマートフォンをいじっているなど。

●学校教育部長

子どもに注意するには、説得力がなくなりますよね。

●電車の中でも皆スマートフォンを操作しています。

●外食したときなど、夫は料理が出てくるまでスマートフォンをいじっています。

●子どもは親の背中を見て育っているので、そういったことを良いと思ってしまいます。

●学校教育部長

食事中は使わないなど。大人がどう関わっていくのか、PTAなどでも学ぶ機会があるのかもしれない。

●上の子は大きくて、下の子が中学生です。環境的には小さいころから機器を持たせていました。上の子たちは塾の送迎のための連絡ツールとして、下の子は塾に行っていないが持たせていました。ほかの方の話では、中学生からという方が多いです。本当は高校生からが良かったのですが、PTAの連絡が無料通話アプリで親がスマートフォンを持つ際、子どもにも持たせたという話もあります。約束事としては、小学生までは夜9時まで。中学生は夜10時まで。使用はリビングのみ。我が家では、中学生に入ってから寝室が別になり、いつの間にかベッドの枕元にスマートフォンのコードが繋がっていて、ロックも解除できなくなっていました。解除しても、無料通話アプリの相手の名前が外国語表示でした。相手は日本人ですが、知らない子、友達の友達かなど。ゲームは私のスマートフォンでやっていて、課金はしていません。キーボードの設定が外国語になっていました。好きで、勉強したようです。子どもの方が操作の理解が早いです。逆に、親が教えて、というパターンです。困っていることは、知らない友達、どこの誰だか分からない人とのやり取りがあることです。だた、親が甘いためか、突っ込んでいけません。スマートフォンを見る時間はそんなに長くはありませんが、学校から帰ってきて、タブレットで動画を見えています。ゲーム通信はしていません。機器の利用に時間を取られることは問題かと思います。

●学校教育部長

動画を中学生は結構見ますよね。思春期のお子さんと難しい時期になるかと思います。好みとか趣味だとか、機器は上手に使えると様々なことを知る機会にもつながります。

●ネットショッピングのパスワードを解除したら、手早く購入手続きをされてしまったことがありました。

●学校教育部長

親がスマートフォンの機能を知っていないといけません。教訓ですね。

●中学校に入ってすぐの体育祭の連絡網が無料通話アプリだったようで、懇談会の時にその話を聞きびっくりしました。担任の先生に聞いたら、「体育祭が終わったらなくなります」と言われました。グループから抜けなさいと言いましたが、先輩方の縦割りでグループを作ると言われたら、嫌とは言えない状況だったようです。

●部活の連絡網が無料通話アプリのことがあります。

●部活の連絡は親の無料通話アプリでやり取りをしています。

●学校教育部長

基本的に、学校から無料通話アプリの連絡はしていません。電話の連絡網を作りにくいので、先生から代表に連絡して、そこから無料通話アプリで回していることがあるようです。スマートフォンを全員が持っているわけではないと、学校は認識しています。

●高校生、中学生、未就学の子が2人です。家族の助けがないと大変なので、中学生の子にも手伝いをしてもらっています。最近までは、時間があるときは機器を使って良いと、無制限で渡していました。部活から帰ってくると機器をずっといじっていたので、夜9から10時までしかできないように設定しました。無制限の時は、怒られることがありイライラしていることが多かったです。機器の使用はリビング。利用は1時間だけなので、リビングで充電して寝なさいと言っていきます。ロックをしていたので、ロックはしないように言いました。ルールを作ると、親から注意されることがなくなり、イライラしなくなりました。慣れたようで、様子が変わったなと思います。問題としては、「子どものスマートフォンに不適切な写真が送られているので確認させてほしい」と学校の先生から連絡がありました。他の子から送られてきた写真を他の子に転送してい

たようで、当事者の子が傷ついていると。気軽に送り、仲間内で盛り上がってしまったようです。スマートフォンのやり取りで、人が傷つくことがあることを刻々と話しました。使い方を教えな
いといけないなと感じた一件です。

●学校教育部長

個人情報、自分のことには気を付けますが、ほかの子となると違う場合があります。誹謗中傷のつもりはないけれども、人を傷つけてしまうことがあります。きちんと教えてあげることは大事です。ルールを守ること、正しい使い方ができていることが良いと思います。

●基本的に、高校生でスマートフォンを持たせたいと考えていました。小学校6年生でクラスの周りが機器を持ち始め、それで卒業式の写真を撮っていました。部活の連絡として、部員間で無料通話アプリのやり取りが必要なかなと思っていました。塾に行き始め、スマートフォンで使える問題集のアプリが用意されていたので、反対していた夫を説得して、スマートフォンを持たせることになりました。持たせた頃は、夜10時までの約束でしたが、だんだん塾も増えてきて、夜10時30分まで良いことにしました。無料通話アプリのメッセージが来るので、子どもは気にします。時間に制限があることを友達にも伝えるようにしました。メッセージのやり取りは減りましたが、グループはたくさんあって、抜けられないようです。今は落ち着いて、約束を守れるようになりました。最近、部活の発表の様子を、SNSに名前付きで載せられてしまいました。学校でも問題になりました。ダンスの動画を投稿するサイトを良く見えています。自分は投稿していませんが、投稿されたものの感想を出しています。

●学校教育部長

一度公開されてしまったものは消すことが難しいです。動画の投稿サイトは顔がはっきり分かります。「いいね」が知らない人から送られてきて、つながることがあります。

●こども未来部長

褒めるようなコメントをして、逆の考えの知らない人に誹謗中傷されてしまうこともあります。良かれとしてやったことが、人とつながり、怖いことになることも教えていかないとはいけません。

●子どもがどう考えているのか分かりません。制限をかけてはいますが。

●制限に抜け道があります。

●学校教育部長

大人が良く知っていないと、子どもに教えることができません。

●高校生、中学生の子どもがいます。スマートフォンは高校に入ってからと徹底しました。下の子は、ゲームが好きで、オンラインで会話をしながらゲームをします。また、動画を見たいのでスマートフォンを持ちたいと言っていますが、携帯電話で満足しているようです。世の中に機器が普及しているので、それを制限することは難しいと思います。それよりも、親子関係や、人間としてどう子どもを育てるのが一番重要かと思います。子ども自身で良し悪しが判断できるまで、大人がどのように対処するのが大事だと思います。中学生まで、ある程度は間違いを起こしても良いと考えています。それが逆に学びになります。写真の話は、友達にも同じことがありました。小学校から一緒の中学校になった子が、友達の小学生時代の様子や卒業アルバムの写真をほかの友達に流して、トラブルになりました。該当する子どもたちを集めて話し合わせ、被害を受けた子どもの親に電話をさせたそうです。中学校の先生の対応が良かったと思います。上の子は新しい環境に慣れるまで時間が掛かりますが、高校でスマートフォンを持たせたとき、それで周りとのコミュニケーションをとることができました。すぐに友達ができて、楽しく過ごせたよ

うです。そういった意味ではスマートフォンは悪いものではありません。上の子は良し悪しが判断できるようになったようで、私にきた不審なメールにも対応できます。下の子はまだ悩んでしまうようです。

●学校教育部長

スマートフォン自体は便利な機器で、今の時代なくてはならないものだと感じます。どう使い方を教えるのか。本質は、親子関係が大事であるという貴重な御意見をいただきました。ありがとうございます。

●教育長

学校としても、大人が何をやらなければならないのか考えてきました。機器のことをきちんと知らないといけません。機器の扱いは、子どもの方が早く覚えることができます。ただ、利用するにあたって、便利な点と危険な点があることを大人が教えないといけません。文化会館で講演会を実施します。実際に起こった恐ろしい話をしてくれます。教師だけでなく、保護者の方にも話を聞いてほしいです。問題意識を持っている方は、行こうと思われると思いますが、漫然と子どもに機器を持たせた方はこういったものにも関心を持ちません。学校や家庭教育、PTAで講座をやったから良いのではなく、繰り返し実施することが必要になります。大人だけでなく、子どもに対する指導も、繰り返し続けていきます。学校で生徒対象に実施している教室に、保護者の方も参加できるものがありますので、親子で情報共有をしていただきたいと思います。本日の話を聞かせていただき、手を打たないといけないと思いました。具体的に何をするのかは知恵を出し合って考えていきたいです。

テーマ2「地域での子育て支援について」

●教育総務部長

近年、共働き世帯や核家族世帯が増え、地域での交流や隣近所のふれあいが少なくなったと言われています。

こういったことを背景に、平成24年に「厚木市子ども育成条例」を策定しました。その条例では、地域全体が子育て家庭を見守る、大きな家族になれるよう、目配り声掛けなどを通じて子どもの育ちを支えることの大切さを考えています。地域では、青少年健全育成関係団体や自治会など、様々な活動が盛んに行われています。教育委員会でも、公民館を拠点として地域ぐるみ家庭教育支援を行うなど、地域で子どもを育てるための意識を高める取組も行っています。

地域で子育てをして、地域の方に顔を覚えていただくだけでも安心、安全につながりますし、災害時には助け合うことができます。

地域との関係を深め、地域で子育てをしていただきたいのですが、皆様が地域の行事等にどのように参加されているのか、参加されていない場合、どういった理由で参加できないかをお聴きしたいと考えています。

●自治会に入っています。引っ越してきて、近所とも円滑な関係を持ちたいと考え、自治会に入りました。地域の太鼓連のお手伝いをしています。今年、子ども会が無くなるかどうか、というところです。子どもにとっては習い事とで選べますが、人数が集まりません。小さいお子さんを連れての子ども会活動、自治会の役員決めは大変なので無くなっていってしまうのかと思います。

●教育総務部長

地域によって、様々な状況があるようです。

●自治会に入っています。子ども会は、子どもが少なくなつて7、8年前に無くなりました。代わりに、どんぐりクラブという親と子で参加する活動があります。流しそうめんなど、年3回、できる人だけでやっていて、3、4年続いています。子どもたちも楽しいようで、いろいろな地域の子を連れてきます。

●教育総務部長

工夫もしていて良いですね。

●自治会に入っています。自治会長も気さくで、よく家まで来て声を掛けてくれます。新しい住宅地なので、近所の人も自治会に入っています。小さいお子さんの家庭が多くて、子ども神輿は近所皆で出る感じです。高校生の上の子は出るのが嫌だと言いますが「あなたたちが運営の主体になるんだよ」と最近話しています。今年、地域の小学校、中学校の関係者の集まりで、地域との関わり方をどうすればよいかという議題で、「若い人が担っていく」という話を聞き、子どもたちに教えています。そうやって声を掛けて続けていこうと考えています。

●教育総務部長

地域で、お兄さん、お姉さんたちが子育てに協力してくれることはとても良いことだと思います。

●子ども会は6年前に無くなりました。青少年健全育成会が子どもたちを集めて、年3回ぐらい行事をやっています。小学校区でも、子どもたちの数が減っています。中学生になると、地域の行事に参加することは時間的にも難しくなると思います。小さい頃にどれだけ地域と接してきたかによって、成人したころ、地元のことを思い出して戻って来るのではないのかと思います。小さい頃の地域との関わり方が大事だと思います。人数も少ないですし、やっている方も大変だと思いますが、地道に、役員の方は頑張ってくれています。私も、活動に自分の子どもが参加していなくても、地域の行事に参加しています。自分の子どもだけではなく、他の子も見ることができればと思い参加しています。活動1年目なので地域行事の皆勤を狙っています。

●こども未来部長

子どもの頃の楽しい思い出があると、それを還元しようという気持ちになりますよね。そういう思いがないと地元で愛着が沸かないです。周りの大人が一生懸命やらないと、という気持ちになりますよね。

●自治会には入っています。7割が高齢の方で、若い人がいません。子どもが少なくなっていて、2年前に子ども会会長をしましたが、子ども会存続の危機を感じています。でも、地域のお祭りなど昔から続いているものはやっていきたいと思っているので、役員に負担が掛かりながらやっています。6年生の子どもが減ると、行事の運営は難しくなるので、縮小、見直しをしています。自治会役員とボランティアの方と一緒にやっていて、子ども会を無くすことは考えられません。やはり、地域の方と触れ合う機会は大事です。子どもが小学校に通っている時は、セーフティベストを着ながら、犬を散歩させていました。他の方ともあいさつができますし、知らない子どもも犬に触りに声を掛けてくれます。昔は、登校時に近所の方が付いてきてくれました。その姿を見ているので、そういったつながりがすごく大事だと感じています。今ではその方を、息子が車で送迎をすることがあり、とても喜んでくれました。他の方の話では、おとなしかった子が、ジュニアリーダーを務めることによって、地域とコミュニケーションが取れてリーダーシッ

プを発揮することができたそうです。地域の力で、育児から離れた高齢者の方も、横断歩道で子どもを見守ってくれています。厚木市の良いところだと思います。PTAで見守りの際、メッシュタイプのセーフティベストがありません。夏は暑いので、メッシュタイプのベストがあると助かります。

●自治会には入るものだと思っていたので、地域で入っていない方がいることに驚きました。学校から、地域行事に参加するようにと声掛けがあります。子どもたちはお祭りの手伝いなどをしています。核家族が多く、高齢の方と接することがないので、今までになかった価値観を知ることができる良い機会です。見守りが大事だと思う反面、朝の旗振りで子どもがあいさつを返してくれません。自分の子どもが学校に通っていない世代で、活動をして给对方にもいます。あいさつが返ってこないことは寂しいなと思います。やりがいをもって続けていっていただきたいので、自分の子どもには、見守りをして给对方にあいさつをするように言っています。良い取組が無くならないように、子どもにも意識付けをできれば良いなと思います、

●教育総務部長

あいさつがあるだけでも、地域のコミュニケーションは円滑になりますし大事ですね。良いお話をたくさん聞かせていただきました。ありがとうございました。

●市長

思っていたこと全てを皆さんに話していただきました。「家族の話し合い」、「子どもをどう育てるかが大事」という意見がありました。本当にそう思います。また、「見守り活動の際、子どもがあいさつをしてくれない」という意見がありましたが、声をかけ続けてください。しっかりしたお話がお伺いできて、気付かせていただくことが多くありました。ありがとうございました。

いただいた御意見は、今後の市政運営の参考とさせていただきます。ありがとうございました。